令和９年度

一般選抜
学生募集要項

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学のWebサイトで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にWebサイトで確認してください。

受験情報サイト（URL）
https://juken.ehime-u.ac.jp

愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

一般選抜の試験日程等一覧

事項＼入試区分・学部		前期日程	後期日程
		法文学部、教育学部、社会共創学部 理学部、医学部、工学部、農学部	法文学部、理学部 工学部、農学部
大学入学共通テスト		令和９年１月16日(土)～１月17日(日)	
インターネット出願受付期間	出願情報の登録期間	令和９年１月18日(月)10時～２月３日(水)16時	
	検定料の支払期間	令和９年１月25日(月)０時～２月３日(水)16時	
	出願書類の提出期間	令和９年１月25日(月)～２月３日(水)〔２月３日(水)の消印有効〕	
２段階選抜に係る第１段階選抜の結果発表		医学部医学科のみ 令和９年２月10日(水)	
個別学力検査等実施日		法文学部、社会共創学部、理学部、工学部、農学部 令和９年２月25日(木) 教育学部、医学部 令和９年２月25日(木)～26日(金)	令和９年３月12日(金)
合格者発表		令和９年３月６日(土)10時	令和９年３月20日(土)16時
入学手続期間		令和９年３月６日(土)～15日(月) 17時必着 郵送のみ	郵送する場合 令和９年３月20日(土)～27日(土) 17時必着 持参する場合 令和９年３月26日(金)～27日(土) の９時～17時

注　前期日程と後期日程では選抜方法等が異なります。また、教育学部、社会共創学部及び医学部は後期日程での選抜は行いませんので、本要項を熟読の上、間違いのないように出願してください。

出願方法

一般選抜への出願は、出願期間内にインターネットで行い、併せて、出願しようとする学部が定める出願書類を本学に郵送してください。

なお、出願前に、動画「インターネット出願の使い方」を視聴し、インターネット出願の操作方法を理解してから、出願してください。

インターネット出願サイト（URL）
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/

目　　次

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）、選考方法の趣旨 …… 1
Ⅱ　募集人員 …… 13
Ⅲ　出願資格 …… 14
Ⅳ　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認等 …… 14
Ⅴ　出願方法及び出願手続 …… 15
　1　学内併願 …… 15
　2　志望学科等の選択 …… 15
　3　出願方法（インターネット出願） …… 17
　4　出願受付期間（前期日程及び後期日程） …… 17
　5　出願書類等の送付先 …… 17
　6　出願から受験までの流れ …… 18
　7　受験票等のダウンロード・印刷 …… 25
　8　検定料の返還 …… 26
　9　注意事項 …… 26
Ⅵ　入学者選抜方法 …… 27
Ⅶ　入学者選抜の教科・科目及び配点等 …… 27
　○　法文学部 …… 28
　○　教育学部 …… 31
　○　社会共創学部 …… 37
　○　理学部 …… 41
　○　医学部 …… 44
　○　工学部 …… 49
　○　農学部 …… 54
Ⅷ　個別学力検査等の実施日時及び試験場 …… 58
Ⅸ　受験上の注意 …… 61
Ⅹ　合理的配慮を希望する入学志願者の出願 …… 62
Ⅺ　合格者発表 …… 63
Ⅻ　入学手続 …… 64
ⅩⅢ　欠員補充の方法 …… 65
ⅩⅣ　初年度の諸経費等 …… 66
○　履修コース …… 67
○　入学試験に関する照会先 …… 70
○　試験場・試験場案内・交通機関案内 …… 71
○　入学試験個人成績の開示 …… 75
○　試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について …… 76
○　個人情報の取扱い …… 76
○　入試情報サービス …… 77
○　「入試過去問題活用宣言」への参加 …… 77

Ⅰ アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）、選考方法の趣旨

法 文 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部では、人文・社会科学の知識を基盤とした幅広い教養と実践力を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材を育成することを目的とします。そのため、法文学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・理解）
1　高等学校等で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。
（思考・判断）
2　物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
（興味・関心・意欲、態度）
3　人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。
（技能・表現）
4　所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

【一般選抜　前期日程】

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、６又は７教科８科目を課しています。また、個別学力検査等では、入学後の修学に必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかをみるために、昼間主コースでは国語と英語を、夜間主コースでは国語を課しています。さらに、勉学への意欲や関心、実践的活動などをみるために、調査書の提出を求めています。

【一般選抜　後期日程】

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの基礎的な知識、思考力、判断力を身につけているかをみるために、３教科３科目を課しています。また、個別学力検査等では、物事を多様な側面から考察し、主体的に自らの考えを確立して、それをわかりやすく表現できるかをみるために、小論文を課しています。さらに、勉学への意欲や関心、実践的活動などをみるために、調査書の提出を求めています。

教 育 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。本学部は、教員養成学部としての重要性を自覚し、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、小学校教育サブコース、特別支援教育サブコース）、初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康･芸術教育サブコース）からなる各コースの特徴ある専門教育を実施しています。「人を育む」という観点から、多様化・複雑化する教育課題に的確に対応できる人材を育成し、社会に送り出します。この目的のために、次のような資質・能力を有する学生を求めます。

1　入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
（知識・理解）
①高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などについて、内容を

理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
（知識・理解、技能）
②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。
（思考・判断・表現）
２　物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。
（興味・関心・意欲）
３　子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心をもち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。
（態度）
４　積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

学校教育教員養成課程のアドミッション・ポリシー

幼児・児童・生徒の発達や学習、障害などの様々な教育的ニーズに対して幅広い興味と関心をもち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。

教育や発達、教科、障害などに関する課題を積極的に探究し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人、個々の子どものニーズに柔軟に対応し、すべての子どもたちが輝く教育の創造に努めようとする人の入学を期待します。

選考方法の趣旨

【一般選抜　前期日程】

大学入学共通テストでは、高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力をみるために、６教科７科目を課しています。

幼年教育サブコース、特別支援教育サブコース、言語社会教育サブコースおよび科学教育サブコースの個別学力検査では、国語、数学、理科、外国語のいずれか１科目の筆記試験により、入学後の修学に必要な基礎知識、基礎的な技能、思考力、表現力等を総合的に評価します。

小学校教育サブコースの個別学力検査では、筆記試験（国語、数学、理科、外国語のいずれか１科目)、グループワークまたは実技試験（体育実技、音楽実技、美術実技のいずれか１科目）により、入学後の修学に必要な基礎知識、基礎的な技能、思考力、表現力等を総合的に評価します。

生活健康・芸術教育サブコースの個別学力検査は、教科ごとに指定された試験（グループワーク、体育実技、音楽実技、美術実技のいずれか１科目）により、入学後の修学に必要な基礎知識、基礎的な技能、思考力、表現力等を総合的に評価します。

筆記試験、グループワーク、実技試験に加えて、初等教育及び中等教育への強い関心と、教員を目指すという強い目的意識、勉学意欲、基礎的知識等があるかを確認するとともに、それらを自らの言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力をみるために、集団面接試験を課しています。また、高校生活における活動歴等を踏まえ、関心、意欲、態度等をみるために、調査書、活動報告書等を課しています。

社会共創学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

社会共創学部は、地域社会を持続可能な発展へと導くために、地域ステークホルダーと協働しながら、課題の解決策を企画・立案するだけでなく、知的展開に基づいた実践活動を通して、地域社会の未来を牽引する人材を育成します。

このため、社会共創学部では、以下のような入学者受入の方針を定め、地域の課題解決に取り組む意欲のある人材を求めます。

（知識・理解）
1　高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。
（思考・判断）
2　目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。
（興味・関心・意欲・協働）
3　地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。
4　様々な人々と協働しながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。
（技能・表現）
5　他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

産業マネジメント学科のアドミッション・ポリシー

（知識・理解）
1　高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。
（思考・判断）
2　目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。
（興味・関心・意欲・協働）
3　地域社会や地域企業に関心を持ち、地域産業の持続可能な発展に貢献する意欲を有している。
4　様々な人々と協働しながら、地域社会や地域産業の課題解決に主体的に取り組む姿勢を有している。
（技能・表現）
5　他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

産業イノベーション学科のアドミッション・ポリシー

（知識・理解）
1　高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。
（思考・判断）
2　目標を達成するために、産業に関わる様々な事象を多面的に考察し、論理的・総合的な考え方と判断ができる。
（興味・関心・意欲・協働）
3　地域社会の持続可能な発展と水産・農業・工業・商業分野に関心を持ち、水産業・紙産業・ものづくり産業等の産業イノベーションに積極的に関わろうとする意欲と熱意を有している。
4　様々な人々と協働しながら、産業の問題の発見と課題の解決に主体的に取り組む姿勢を有している。
（技能・表現）
5　他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

環境デザイン学科のアドミッション・ポリシー

（知識・理解）
1　高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。
（思考・判断）
2　目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)
3　環境サステナビリティや地域デザイン・防災に関心を持ち、次世代の持続可能な地球環境や地域社会の実現に積極的に関わろうとする意欲を有している。
4　社会全体の利益に資する公共心を持って、様々な人々と協働しながら熱意を持って地域社会の課題解決に取り組む姿勢を有している。
(技能・表現)
5　他者の意見を理解し、自己の考えをわかりやすく表現できる対話力を有している。

地域資源マネジメント学科のアドミッション・ポリシー
(知識・理解)
1　高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。
(思考・判断)
2　目標を達成するために、地域資源や地域社会に関わる様々な事象を、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。
(興味・関心・意欲・協働)
3　地域資源の活用や地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。
4　様々な人々と協働しながら、問題の発見と課題の解決に主体的に取り組む姿勢を有している。
(技能・表現)
5　他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨
Ⅰ．産業マネジメント学科
大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、６又は７教科８科目を課しています。また、個別学力検査等では、高等学校卒業レベルの基礎知識、及び定性的･定量的分析力をみるために、英語や図表、データ分析などを含んだ総合問題を課すとともに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみるために調査書を課しています。

Ⅱ．産業イノベーション学科
大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、６教科８科目を課しています。また、個別学力検査等では、多面的な視点から論理的に考察することができる知識や思考、表現力をみるために小論文を課しています。さらに、水産業、紙産業またはものづくり産業への関心、思考、判断、意欲、協働、表現力等を総合的にみるために、面接を課しています。

Ⅲ．環境デザイン学科
大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、６又は７教科８科目を課しています。また、個別学力検査等では、多面的な視点から論理的に考察することができる知識や思考、表現力をみるために小論文を課しています。さらに、環境デザインに関する関心、知識、思考、判断、意欲、協働、表現力等を総合的にみるために、調査書及び面接を課しています。

Ⅳ．地域資源マネジメント学科
大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を身につけているかをみるために、６又は７教科８科目を課しています。また、個別学力検査等では、多面的な視点から論理的に考察することができる知識や思考、表現力をみるために小論文を課しています。さらに、高等学校等での基礎学力の習得状況、及び主体性をもって多様な人々と学ぶ協働性をみるために調査書を課すとともに、地域社会や地域資源に関する関心、意欲、協働、技能、表現力等を総合的にみるために、面接を課しています。

理　学　部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

科学は、数理、物質、自然、生命を支配する原理や法則を探究する学問であり、身の回りの「何故」に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、数学・数理情報、物理学、化学、生物学、地学の理学５基幹分野を基盤に、宇宙・地球・環境に関連する学際的分野に携わる先端研究院の研究センター群と協働して教育・研究を実施しています。理学部は、数理・物質・自然・生命にかかわる事柄に広く興味を持ち、科学を体系的に学習して理系人材として社会で活躍しようと志す入学者を受け入れ、各教育コースの特徴ある専門教育を通して汎用能力を有す理系人材として育成し、社会に送り出します。

この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

1　高校課程修了レベルの知識・教養を広く修得しており、自律的に学習を進める準備がある。
2　高校課程の数学又は理科の十分な基礎学力を有し、数理・物質・自然・生命の探究に興味を持ち、科学をさらに深く学び理解しようとする意志がある。
3　物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
4　継続的な学習により成長し、倫理観・責任感をもって主体的に社会とかかわり貢献しようと志している。

選考方法の趣旨

【一般選抜　前期日程】

前期日程では、理学部での学習を通して成長し理系人材として活躍しようと志す入学志願者を広く受け入れるため、大学入学共通テスト、筆記試験及び調査書による評価を実施し、入学後の修学に必要となる基礎学力・論理的思考力・表現力・理学に対する意欲・適性を総合評価して選抜します。

大学入学共通テストでは、６教科８科目を課し、入学後の修学に必要な総合的な学力基盤を確認します。

筆記試験では、数学、物理、化学、生物、地学のいずれか１科目の記述式試験により、理学分野における基礎知識・理解力・論理的思考力・表現力などを総合的に評価します。

調査書では、総合的な探究の時間、特別活動、その他の項目により、学習への取組姿勢・主体性・他者と協働する態度などを総合的に評価します。

【一般選抜　後期日程】

後期日程では、理学を学ぶ強い意志と基礎学力・思考力を有する入学志願者を受け入れるため、大学入学共通テスト、筆記試験（数学）又は口頭試問を含む面接及び調査書による評価を実施し、入学後の修学に必要となる基礎学力・論理的思考力・表現力・理学に対する意欲・適性を総合評価して選抜します。

大学入学共通テストでは、６教科８科目を課し、入学後の修学に必要な総合的な学力基盤を確認します。

筆記試験（数学）では、記述式試験により、数学についての理解力・論理的思考力・計算力・表現力などを総合的に評価します。口頭試問を含む面接では、理学に関わる基礎的知識・理解力・論理的思考力・表現力・目的意識・勉学意欲などを総合的に評価します。

調査書では、総合的な探究の時間、特別活動、その他の項目により、学習への取組姿勢・主体性・他者と協働する態度などを総合的に評価します。

医　学　部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

愛媛大学医学部では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学・看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多

様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学部では次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・思考力・判断力・表現力)
1　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
2　自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
3　人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
4　医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
5　入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
6　幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。

医学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部医学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために､大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学科では次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・思考力・判断力・表現力)
1　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
　1－1)［全ての入試枠］高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の広範な知識を有している。
　1－2)［一般選抜］高等学校等で履修する数学および理科（物理､化学）について深く理解している。また、和文や英文を読んでその内容を理解し、日本語や英語で適確に表現することができる。
　1－3)［学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ］和文や英文の理解に加え、理科や数学の基礎的な知識を基に、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ考察し、日本語や英語で適確に表現できる。
2　自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
3　人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
4　医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
5　入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
6　幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。
7　卒業後の将来展望を有している。
　7－1)［一般選抜］医師としての優れた資質を有し、医学・医療の担い手となる意欲を持っている。
　7－2)［学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦)］医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、愛媛県内の医学・医療の担い手となる意欲を持っている。
　7－3)［学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦)］幅広い総合的な診療能力を身につける意欲を持ち、愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。
　7－4)［総合型選抜Ⅱ］研究医の不足や、地域・診療科における臨床医の偏在など、医学・医療を

取り巻く諸問題に強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組み、愛媛県内の医学・医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。

看護学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部看護学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する看護学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、学科内あるいは学部や大学を超えたグループによるチーム基盤型学習の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、総合型選抜（地域特別枠、社会人枠）、学校推薦型選抜を採用しています。そこで、看護学科ではカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める教育を受けるために最低限必要な、次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能）

1　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

[一般選抜]

1－1）高等学校等で履修する国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の広範囲な知識を有している。

1－2）長文の和文と英文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。

[総合型選抜ＩＡ（地域特別枠）]［総合型選抜ＩＢ（社会人枠）]

1－1）長文の和文と英文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。

[学校推薦型選抜Ⅱ]

1－1）高等学校等で履修する国語、理科、外国語のうち２科目の広範囲な知識を有している。

1－2）長文の和文と英文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。

2　高等学校等までの学修や生活体験を通して、人と人の暮らしに関する知識を獲得している。

（思考力・判断力・表現力）

3　自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

4　物事の中から問題を見出し、解決方法を探り、問題解決に向けて行動することができる。

5　情報をもとに自分の考えを形成し、その考えを伝え合って多様な考えを理解し、考えを深めることができる。

6　物事をさまざまな視点からとらえ、新しい意味や価値を生み出すことができる。

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

7　人が好きで、人、人の暮らしや命、看護に高い関心がある。

8　将来、看護職等として医療に貢献したい目的意識と情熱がある。

[総合型選抜ＩＡ（地域特別枠）]

8－1）中山間地域や離島などの地域医療に強い関心をもち、将来、愛媛県内の地域医療のリーダーとして貢献することに高い使命感を持っている。

[総合型選抜ＩＢ（社会人枠）]

8－1）看護に強い関心をもち、将来、社会人として人の暮らしや医療に貢献することに高い使命感を持っている。

9　周囲の人と良好な関係を自主的に形成していくことができる。

10　多様な人々の考え方や価値観を尊重し、互いのよさを生かして協働できる。

選考方法の趣旨

Ⅰ．医学科

【一般選抜　前期日程】

医師を目指すためには、卒業までに多くの専門知識や技術を身につけなければなりません。そのためにも、大学入学までに培われるべき基礎学力が必要です。

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために６教科８科目を課しています。

個別学力検査では、数学、理科（物理・化学）と総合問題の筆記試験を行い、これらの科目の基礎知識や応用力を試します。

また、面接試験では、医師を目指すという目的意識や情熱が強いこと、緊張した状況下でも落ち着いて、他者に自分の考えを自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力を有していることを確認します。さらに、多様な人々と協働し生涯学び続けることが求められる医療人としての適性、医師の社会的責任について自分なりの考えを持っていることや、医療や医学について社会問題となっている事柄についての興味や関心を確認します。

Ⅱ．看護学科

【一般選抜　前期日程】

将来的に、地域のリーダーとして、人の一生涯の暮らしを支える看護を牽引する人材の育成を目指し、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力の評価のために、大学入学共通テストでは、６教科６科目を課しています。

個別学力検査では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、和文と英文による小論文試験（解答は和文による）を課しています。テーマは医療に関係する内容に限らず、自然科学全般やその時々の社会問題など、人や人の暮らしに関する広い範囲から出題します。

個人面接では、出願書類（調査書）を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等や学校外での様々な活動について質問し、看護の専門職を目指すという強い目的意識や情熱、社会性や協調性、思考力や表現力を有していることを確認します。入学後の学習では、実際に地域で暮らす人々や、病院・施設・在宅で療養している多くの人々と関わることからの学びが重要になります。そのため、人との関わりが好きで、人や人の暮らしに関する関心や知識があることを確認します。

工　学　部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

工学部では、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、工学部では次のような人物を求めます。

（知識・理解）

１　本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

（思考・判断、技能・表現）

２　物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。

３　自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

４　工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

（主体性・多様性・協働性）

５　主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

６　多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

選考方法の趣旨

【一般選抜　前期日程　理型入試（理型入試Ａ、理型入試Ｂ)】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の６教科８科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、筆記試験により数学及び理科（物理、化学、生物のうちいずれか１つ）の基礎学力を評価し、調査書又は活動調書によって、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【一般選抜　後期日程　理型入試】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の６教科８科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、筆記試験により数学の基礎学力を評価し、調査書又は活動調書によって、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【一般選抜　前期日程　文理型入試（建築・社会デザインコース)】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の６教科７科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、筆記試験により数学の基礎学力を評価し、調査書又は活動調書によって、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【一般選抜　後期日程　文理型入試（建築・社会デザインコース)】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の最大５教科６科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、面接により論理的思考能力を測り、調査書又は活動調書によって、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【一般選抜　前期日程　デジタル情報人材育成特別プログラム】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の６教科８科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、筆記試験により数学の基礎学力を評価し、調査書又は活動調書によって、コンピュータ科学・応用情報工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【一般選抜　後期日程　デジタル情報人材育成特別プログラム】

大学入学共通テストでは、高等学校卒業程度の６教科８科目の基礎学力が備わっていることを評価します。また、個別学力検査では、筆記試験により数学の基礎学力を評価し、調査書又は活動調書によって、コンピュータ科学・応用情報工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

農　学　部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

農学部は、生物生産技術の開発と安全･安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

１　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

２　次のいずれかに該当する。

⑴　[一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する６教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的

な知識・技能を有している。
⑵　[学校推薦型選抜ＩＡ]
高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。
⑶　[学校推薦型選抜ＩＢ]
高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。
（思考・判断）
ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
（興味・関心・意欲）
地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。
（表現）
自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。
（主体性・協働性）
問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

食料生産学科のアドミッション・ポリシー

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の６次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。
そこで、食料生産学科は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）
１　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
２　次のいずれかに該当する。
⑴　[一般選抜、総合型選抜Ⅱ]
高等学校等で履修する６教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。
⑵　[学校推薦型選抜ＩＡ]
高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。
⑶　[学校推薦型選抜ＩＢ]
高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。
（思考・判断）
ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
（興味・関心・意欲）
地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。
（表現）
自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。
（主体性・協働性）
問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生命機能学科のアドミッション・ポリシー

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。
そこで、生命機能学科は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）

1　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
2　次のいずれかに該当する。
(1)　[一般選抜、総合型選抜Ⅱ]
　高等学校等で履修する６教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。
(2)　[学校推薦型選抜ＩA]
　高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。
(3)　[学校推薦型選抜ＩB]
　高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。
(思考・判断)
　ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
(興味・関心・意欲)
　地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。
(表現)
　自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。
(主体性・協働性)
　問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生物環境学科のアドミッション・ポリシー
　生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。
　そこで、生物環境学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)
1　入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
2　次のいずれかに該当する。
(1)　[一般選抜、総合型選抜Ⅱ]
　高等学校等で履修する６教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。
(2)　[学校推薦型選抜ＩA]
　高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。
(3)　[学校推薦型選抜ＩB]
　高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。
(思考・判断)
　ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
(興味・関心・意欲)
　地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。
(表現)
　自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。
(主体性・協働性)
　問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

選考方法の趣旨
Ⅰ．食料生産学科
【一般選抜　前期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみる

ために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、個別学力試験では、数学と理科１科目を課し、「思考・判断」、「表現」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

【一般選抜　後期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、面接試験では、食料生産に関連する様々な問題への「関心」度、問題解決に向けた「意欲」、それに対する「思考･判断」、「表現」、「主体性・協働性」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

Ⅱ．生命機能学科
【一般選抜　前期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、個別学力試験では、数学と理科１科目を課し、「思考・判断」、「表現」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

【一般選抜　後期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、面接試験では、生命機能に関連する様々な問題への「関心」度、問題解決に向けた「意欲」、それに対する「思考･判断」、「表現」、「主体性・協働性」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

Ⅲ．生物環境学科
【一般選抜　前期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、個別学力試験では、数学と理科１科目を課し、「思考・判断」、「表現」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

【一般選抜　後期日程】
　大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために、６教科８科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。また、面接試験では、生物環境に関連する様々な問題への「関心」度、問題解決に向けた「意欲」、それに対する「思考･判断」、「表現」、「主体性・協働性」を評価します。さらに、調査書により、「主体性・協働性」を評価します。

Ⅱ　募集人員

学部名	学科・課程等			入学定員（人）	合計（人）	募集人員（人）									
						一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人選抜	私費外国人留学生選抜	渡日前私費外国人留学生選抜
						前期	後期	大学入学共通テストを課さない（総合型選抜Ⅰ）	大学入学共通テストを課す（総合型選抜Ⅱ）	大学入学共通テストを課さない（学校推薦型選抜Ⅰ）	大学入学共通テストを課す（学校推薦型選抜Ⅱ）			
法文学部	人文社会学科	「昼間主コース」		275	365	175	50		35	15			若干人	
		「夜間主コース」		90		40	20		10	10		10		
教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース	160	160	99 (6)		10			10		若干人	
			特別支援教育サブコース			(12)			8				若干人	
			小学校教育サブコース			(20)			9				若干人	
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース（国語教科）			(25)			5				若干人	
			言語社会教育サブコース（社会教科）											
			言語社会教育サブコース（外国語(英語)教科）											
			科学教育サブコース（算数・数学教科）			(20)			5				若干人	
			科学教育サブコース（理科教科）											
			科学教育サブコース（技術・情報教科）											
			生活健康・芸術教育サブコース（家庭教科）			(16) (6)			3				若干人	
			生活健康・芸術教育サブコース（体育・保健体育教科）			(6)			3				若干人	
			生活健康・芸術教育サブコース（音楽教科）			(2)			4				若干人	
			生活健康・芸術教育サブコース（図画工作・美術教科）			(2)			4				若干人	
社会共創学部	産業マネジメント学科			70	180	50			20				若干人	
	産業イノベーション学科			25		13		12					若干人	
	環境デザイン学科			35		20		15					若干人	
	地域資源マネジメント学科			50		25		15	10				若干人	
理学部	理学科	数学受験		225	225	160 (42)								
		物理受験				(40)								
		化学受験				(40)								
		生物受験				(30)								
		地学受験				(8)								
		A（数学）					23 (13)							
		B（面接）					(10)							
		数学・数理情報コース									10		若干人	若干人
		物理学コース									5		若干人	若干人
		化学コース									8		若干人	若干人
		生物学コース								7			若干人	若干人
		地学コース								12			若干人	若干人
医学部	医学科			110	170	55			10		45		若干人	
	看護学科			60		30		10			20		若干人	
工学部	工学科	理型入試A		530	530	130								
		理型入試B				130								
		理型入試					101							
		文理型入試				14	7							
		機械工学コース						2			12		若干人	若干人
		知能システム学コース						1			3		若干人	若干人
		電気電子工学コース								5	8		若干人	若干人
		コンピュータ科学コース								2	4		若干人	若干人
		応用情報工学コース									4		若干人	若干人
		材料デザイン工学コース								3	12		若干人	若干人
		化学・生命科学コース						10	10	7	13		若干人	若干人
		社会基盤工学コース								10			若干人	若干人
		建築・社会デザインコース								4			若干人	若干人
		海事産業特別コース						4	4				若干人	若干人
		デジタル情報人材育成特別プログラム				15	10		3	2			若干人	若干人
農学部	食料生産学科			70	170	38	7		7	18		若干人	若干人	若干人
	生命機能学科			45		27	5		7	6		若干人	若干人	若干人
	生物環境学科			55		28	6		5	16		若干人	若干人	若干人
合計				1,800	1,800	1,049	229	79	162	117	154	10		

注１　教育学部の表中の（　）の数は、各サブコース、教科の合格予定者数を示します。
注２　理学部の前期日程（数学受験、物理受験、化学受験、生物受験、地学受験）及び後期日程（A（数学）、B（面接））は受験科目を選択するためのものです。表中の（　）の数は、各受験区分の合格予定者数を示します。入学後の所属については、68ページの４を参照してください。
注３　工学部工学科一般選抜理型入試（一般選抜前期の理型入試A、理型入試B及び一般選抜後期の理型入試）による入学者は１年次後学期開始時にコースへ配属します。一般選抜文理型入試による入学者は入学時から「建築・社会デザインコース」所属となります。
注４　農学部の一般選抜（前期日程）の募集人員には社会人選抜の募集人員（若干人）を含みます。
注５　農学部の総合型選抜Ⅱは、各学科の特別コースのみ実施します。

Ⅲ　出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する令和９年度大学入学共通テストの教科・科目のすべてを受験した者

⑴　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和９年３月卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則第150条の規定（第６号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者

〔参考〕学校教育法施行規則第150条の規定内容

1　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

2　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

3　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

4　文部科学大臣の指定した者

5　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

6　学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

7　大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

注　上記の（3）の７に該当する志願者は、本学において個別の入学資格審査が必要になりますので、下記の期日までに必要書類を添えて本学へ申請してください。

なお、申請者は、申請前に、本学へ問い合わせてください。（入学資格審査の詳細については、本学のWebサイト（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/）で確認してください。）

【入学資格審査申請期限】
令和９年１月19日㈫

【問い合わせ先・申請書類の提出先】
愛媛大学教育学生支援部入試課
所在地：〒790－8577　松山市文京町３番
電話番号：089－927－9172

Ⅳ　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の確認等

⑴　本学では、過年度の大学入学共通テスト成績の利用は、行いません。

⑵　出願にあたっては、各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを、「Ⅶ 入学者選抜の教科・科目及び配点等（27～57ページ）」の「１　大学入学共通テストの受験を要する教科･科目等」の表により確認してください。特に「地理歴史、公民」と「理科」のいずれか又は両方において１科目のみが採用される場合、２科目受験者については、第１解答科目を採用しますので、第１解答科目が各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目であることを十分に確認してください。

⑶　各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません。

Ⅴ　出願方法及び出願手続

1　学内併願

本学内の同一学部又は異なる学部・学科等を、前期日程と後期日程で併願することができます。

2　志望学科等の選択

志望学科等の選択は以下のとおりとします。

(1) 教育学部志願者

前期日程では表１のとおり第２志望を認めます。

表２の第１志望のサブコース・教科が指定する個別学力検査等１教科を受験し、第２志望は第１志望のサブコース・教科が指定する個別学力検査等１教科で合格者選考を行います。

ただし､小学校教育サブコースの「体育実技」「音楽実技」「美術実技」受験者以外で､「体育・保健体育教科」「音楽教科」「美術教科」を第２志望とする場合、第２志望の教科が指定する実技検査を受験しなくてはならず、実技検査で合格者選考を行います。

例）第１志望：言語社会教育サブコース（個別学力検査：国語）
　　第２志望：生活健康・芸術教育サブコース 音楽教科（個別学力検査：音楽実技）

また、第１志望のサブコース・教科における個別学力検査で実技検査を選択した場合、第２志望は第１志望と異なる実技検査を必要とする教科を選択することはできません。

組合せ不可の例）第１志望：小学校教育サブコース（個別学力検査：体育実技）
　　第２志望：「音楽教科（個別学力検査：音楽実技)」又は「図画工作・美術教科（個別学力検査：美術実技)」

表１　志望サブコース等の組合表

第1志望＼第2志望			教育発達実践コース			初等中等教科コース					
								生活健康・芸術教育サブコース			
			幼年教育サブコース	特別支援教育サブコース	小学校教育サブコース	言語社会教育サブコース	科学教育サブコース	家庭教科	体育・保健体育教科	音楽教科	図画工作・美術教科
教育発達実践コース	幼年教育サブコース			○	○	○	○	○	○	○	○
	特別支援教育サブコース		○		○	○	○	○	○	○	○
	小学校教育サブコース		○	○		○	○	○	○	○	○
初等中等教科コース	言語社会教育サブコース		○	○	○		○	○	○	○	○
	科学教育サブコース		○	○	○	○		○	○	○	○
	生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	○	○	○	○	○		○	○	○
		体育・保健体育教科	○	○	○	○	○	○		×	×
		音楽教科	○	○	○	○	○	○	×		×
		図画工作・美術教科	○	○	○	○	○	○	×	×	

（注）○印は、第２志望を認める組合せを示します。

表２　第１志望のサブコース・教科が指定する個別学力検査の受験教科等

コース・サブコース等 ＼ 個別学力検査の受験教科等			国語	数学	理科	外国語	グループワーク	体育実技	音楽実技	美術実技
教育発達実践コース	幼年教育サブコース		○	○	○	○				
	特別支援教育サブコース		○	○	○	○				
	小学校教育サブコース		○	○	○	○	○	○	○	○
初等中等教科コース	言語社会教育サブコース		○	○	○	○				
	科学教育サブコース		○	○	○	○				
	生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科					○			
		体育・保健体育教科						○		
		音楽教科							○	
		図画工作・美術教科								○

＜志望例１　受験教科等：国語＞
第１志望：教育発達実践コース 幼年教育サブコース
第２志望：教育発達実践コース 小学校教育サブコース
＜志望例２　受験教科等：美術実技＞
第１志望：初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 図画工作・美術教科
第２志望：初等中等教科コース 言語社会教育サブコース
＜志望例３　受験教科等：音楽実技＞
第１志望：教育発達実践コース 小学校教育サブコース
第２志望：初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 音楽教科
＜志望例４　受験教科等：数学・体育実技＞
第１志望：初等中等教科コース 科学教育サブコース
第２志望：初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 体育・保健体育教科
＜志望例５　受験教科等：グループワーク＞
第１志望：初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 家庭教科
第２志望：教育発達実践コース 特別支援教育サブコース

「体育・保健体育教科」「音楽教科」「図画工作・美術教科」間の２志望は認めません。
※なお、第２志望は「なし」でも構いません。

⑵　社会共創学部志願者

志望学科は第１志望のみとし、第２志望は認めません。

⑶　医学部志願者

志望学科は第１志望のみとし、第２志望は認めません。

⑷　農学部志願者

前期日程……志望学科は、第３志望まで認めます。
後期日程……志望学科は、第３志望まで認めます。
※なお、第２志望・第３志望は「なし」でも構いません。

3　出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

インターネット出願サイト（URL）https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/

以下の方法により、出願手続をしてください。

① インターネット出願サイトへのユーザー登録
② 出願情報の入力（Web API連携方式を採用しています。）
③ 検定料の支払＊
④ 出願書類の郵送
⑤ 受験票のダウンロード・印刷

これらの詳細な手続きについては、18ページから25ページを確認してください。

＊検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

⑴ 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合

⑵ 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学Webサイト（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/）をご覧ください。

4　出願受付期間（前期日程及び後期日程）

出願情報の登録期間	令和９年１月18日（月）10時 ～ ２月３日（水）16時
検定料の支払期間	令和９年１月25日（月）０時 ～ ２月３日（水）16時
出願書類の提出期間	令和９年１月25日（月）～ ２月３日（水）〔２月３日（水）の消印有効〕

【留意事項】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。

なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び２月４日（木）以降に配達されたもののうち、２月３日（水）以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。

5　出願書類等の送付先

出願書類の送付方法については、20ページ「STEP6　インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

送　付　先	所　在　地	電　話　番　号
愛媛大学教育学生支援部入試課	〒790－8577 松山市文京町３番	089－927－9172、9173

6　出願から受験までの流れ

1）　出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力が完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP5）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。

一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるよう確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows：Microsoft Edge（最新バージョン） Google Chrome（最新バージョン） Firefox（最新バージョン）
	MacOS：Safari（最新バージョン）
スマートフォン タブレット	Android：14.0以上（Android版 Chrome最新バージョン） iOS　　：17.0以上（Safari最新バージョン）
ブラウザの設定：JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件：インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader11. 0以上を推奨します。	

【注意】
・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
・スマートフォン、タブレットを利用する場合、機種によって対応できないものがあります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo！メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時等に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

22ページの「2）支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG又はHEIC形式、30MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3ヵ月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、23ページの「3）出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用［角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）］の市販の封筒が必要です。詳細は、23ページの「3）出願書類」で確認してください。

また、「前期日程」、「後期日程」の両方に出願する場合は、それぞれの日程用の封筒・切手を用意してください。

STEP1　受験情報サイトから「インターネット出願」へアクセス

受験情報サイト>インターネット出願
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/



インターネット出願（ログイン画面）



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2　ユーザー登録

「新規登録」からユーザー ID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3　出願情報の入力

「STEP2　ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続きについて

本学では**「Web方式」**を採用します。出願情報の登録は令和９年１月18日（月）午前10時から開始できます。なお、大学入学共通テスト成績請求情報の連携可能期間内と連携期間外では手続方法が異なりますので、以下を確認の上、手続きを行ってください。

①成績請求情報の連携期間内に出願情報を登録する場合
志願者情報入力の際に、大学入試センター連携ユーザー ID、パスワード、申込番号を入力し、「大学入学共通テスト成績請求情報を取得」をクリックして登録を完了してください。
（※大学入試センター連携ユーザー ID＝共通テスト出願サイトのユーザー ID、パスワード＝同サイト登録時のもの、申込番号＝共通テスト出願サイトのマイページで確認できる11桁の番号）

②成績請求情報の連携期間外に出願情報を登録する場合
令和９年１月22日（金）午前10時までに出願情報を登録する場合は、共通テスト出願サイトとの連携期間外のため、共通テスト成績請求情報欄の入力は不要です。令和９年１月22日（金）午前10時以降に、本学の出願サイトへ再度アクセスし、①の手順に従って共通テスト成績請求情報欄に入力の上、登録を完了してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。
教育学部志願者以外は、これ以降は修正できません。

STEP4　【教育学部のみ】出願書類（活動報告書）の作成

25ページ「4）出願書類（活動報告書）入力上の注意（教育学部志願者のみ）」をよく読んで活動報告書を入力してください。

次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。これ以降は修正できません。

STEP5　検定料の支払

令和9年1月25日（月）0時 ～ 2月3日（水）16時

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。（詳細は 22 ページ「2）支払方法」を参照。）

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例) コンビニエンスストアを選択した場合の画面



支払手続が完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6　インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後にインターネット出願サイトにログインし、「出願内容一覧」にある「出願内容を確認」にアクセスし、「インターネット出願票ダウンロード」「宛名票ダウンロード」ボタンをクリックして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。

※活動報告書等の出願書類は「インターネット出願票ダウンロード」ボタンをクリックした際に添付されます。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4 サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

入力した内容を印刷した書類で確認し、誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。インターネット出願サイト上では修正できません。

【注意】

インターネット出願票の志願者情報の欄以外の箇所に誤りがある場合は、送付前に入試課に連絡してください。（連絡先については、70 ページ「入学試験に関する照会先」参照）

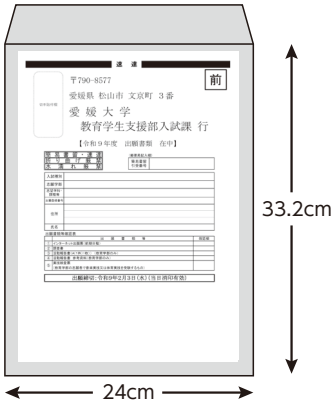
出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、23 ページ「3）出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形 2 号封筒（24 ㎝ ×33.2 ㎝）に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角２封筒に宛名票（A4）を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

【注意】
　インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。
　インターネットで入力が完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

STEP7　受験票のダウンロード・印刷

　下記期間中にインターネット出願サイトにログイン後、「出願内容一覧」にある「出願内容を確認」にアクセスし、「デジタル受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。
　ダウンロードした「受験票」には、２枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間（予定）

前期日程	令和9年2月15日㈰ 16時 ～ 2月26日㈮ 19時
後期日程	令和9年2月15日㈰ 16時 ～ 3月12日㈮ 19時

　ダウンロード開始日時は変更する場合があります。その場合は、受験情報サイト（https://juken.ehime-u.ac.jp）でお知らせします。

STEP8　入学試験を受験

　試験当日は、「愛媛大学受験票」（出願サイトからダウンロード・印刷したもの）と「大学入学共通テスト受験票」（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード・印刷したもの）を必ず持参してください。
　なお、「愛媛大学受験票」は入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
出願操作サポート窓口（コールセンター）

【受付期間】
　令和９年１月18日㈰ ～ １月22日㈮ ９時～ 17時
　令和９年１月25日㈰ ～ ２月２日㈫　９時～ 20時（土・日曜日含む。）
　令和９年２月３日㈬ ９時 ～ 16時

【電話番号】
　075−341−8620（運営会社：京都電子計算株式会社）

2） 支払方法

【検定料】17,000 円（法文学部「夜間主コース」は 10,000 円）
※別途、手数料が 680 円かかります。

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easy が利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング）の 3 種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限ります）。

それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は 26 ページの「8 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

【支払期間】令和 9 年 1 月 25 日（月） 0 時 ～ 2 月 3 日（水） 16 時

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）	
◦ Visa ◦ MasterCard ◦ JCB ◦ Amex ◦ Diners	これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ （カードの利用限度額を確認した上で利用してください。）

コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）	
20 ページ「STEP5　検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
◦ セブンイレブン	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払
◦ ローソン ◦ ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジで現金支払
◦ ファミリーマート	「マルチコピー機」で手続後、レジで現金支払
◦ デイリーヤマザキ ◦ ヤマザキデイリーストアー	レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
◦ セイコーマート	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払

Pay-easy （ペイジー）（日本国内のみ利用可）
20 ページ「STEP5　検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関 ATM 又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。
◦ 金融機関ATM 対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATM（銀行ATM端末に表示されるメニュー名称が銀行によって異なります。）で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 ◦ インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
最新情報は、出願サイトで確認してください。

3）出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

ただし、インターネット出願票について、志願者情報の欄以外の箇所に誤りがある場合は、送付前に入試課に連絡してください。（連絡先については、70ページ「入学試験に関する照会先」参照）

使用する封筒等については、20ページ「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部入試係に連絡してください。

書　類　等	摘　　要	提出を要する者
インターネット出願票	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 出願票に「共通テスト成績請求情報」が入っていることを確認してください。（詳細は、19ページ「STEP3 出願情報の入力」を参照）	全　　員
調　査　書	1　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業した者及び令和９年３月までに卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式（過年度卒業生については、従前の様式（以下「旧調査書」という。）も可）により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。＊ なお、出身学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、以下のとおり取り扱います。 (1)「卒業証明書」、「活動調書（下記参照）」及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。 (2) 上記のうち、「成績証明書又は単位修得証明書」が提出できない場合は、「卒業証明書」、「活動調書（下記参照）」及び高等学校等が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を提出してください。 2　上記以外の者の調査書等については、「注「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業又は卒業見込み」以外の調査書等について」（24ページ参照）のとおりとします。	全　　員
活動調書	大学Webサイト（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/）からダウンロードし、志願者本人が必要事項を記入したもの	調査書が提出できない者及び本学から入学資格認定書の交付を受けた者
活動報告書	出願サイトに入力後ダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。　活動報告書A １件を必ず入力し、提出してください。	教育学部志願者のみ
参考資料等	「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意）、「活動報告書」Aに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）　詳細は25ページ「４）出願書類（活動報告書）入力上の注意」を参照してください。	
教育学部実技検査票	〔前期日程〕 出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷後、必要事項を記入したもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	教育学部の志願者で、音楽実技又は体育実技を受験する者のみ
入学資格認定書の写し	本学において個別の入学資格審査により入学資格を認定された者は、調査書に代えて、本学発行の入学資格認定書の写し及び活動調書（上記参照）を提出してください。	該当者のみ

＊教育学部志願者は、「８．備考」の欄には、出身（在籍）学校又はその学科の特性を生かした学習の成果や、高大連携活動等による成果があれば記入してください。

注 「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業又は卒業見込み」以外の調査書等について

1　高等専門学校第３学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者の調査書（学校長が作成し、厳封したもの）については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。

2　高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書（合格証明書とは異なります。）及び活動調書（23ページ参照）をもって調査書に代えることができます。

　なお、一部の科目を高等学校等で修得した者は、在学期間中の調査書、成績証明書又は単位修得証明書のいずれか一つを併せて提出してください。提出できない場合は、高等学校等が作成した「発行できない旨の理由書」を提出してください。

　また、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を令和９年３月31日までに高等学校等で修得見込みの者は、文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。

3　文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者は、成績証明書及び活動調書（23ページ参照）をもって調査書に代えることができます。

4　外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者は、卒業・修了（見込）証明書、成績証明書及び活動調書（23ページ参照）をもって調査書に代えることができます。

　なお、学校教育における12年の課程を修了した者等に準ずる者で文部科学大臣の指定した者は、検定試験（例：大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等）実施機関の長が発行した検定の合格証書又は当該教育施設の長が発行した教育施設の当該課程の修了（見込）を証明する書類及び活動調書（23ページ参照）を提出してください。

　日本国の高等学校等に在学したことがある場合には、在学高等学校等の調査書（学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。

　また、国際バカロレア資格取得者、ドイツアビトゥア資格取得者、フランスバカロレア資格取得者、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（ＧＣＥ Ａレベル資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Ａレベル資格）取得者、ヨーロピアン・バカロレア資格取得者、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（ＷＡＳＣ*1、ＡＣＳＩ*2、ＣＩＳ*3、ＮＥＡＳＣ*4、Cognia）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者については、成績証明書等及び活動調書（23ページ参照）をもって調査書に代えることができます。

　日本語以外の言語で記載された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。

＊１　ＷＡＳＣ … ウエスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ
＊２　ＡＣＳＩ … アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル
＊３　ＣＩＳ …… カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ
＊４　ＮＥＡＳＣ …… ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ

※調査書の代用書類について不明な点がある場合は、教育学生支援部入試課（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）までお問い合わせください。

4）出願書類（活動報告書）入力上の注意（教育学部志願者のみ）

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」を１件のみ提出してください。
次の注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

（１）　中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、課題研究等※１、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動、資格・検定※２の取得などが該当します。

※１　課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

※２　資格・検定の取得等の時期は問いません。中学校卒業以降に限りません。

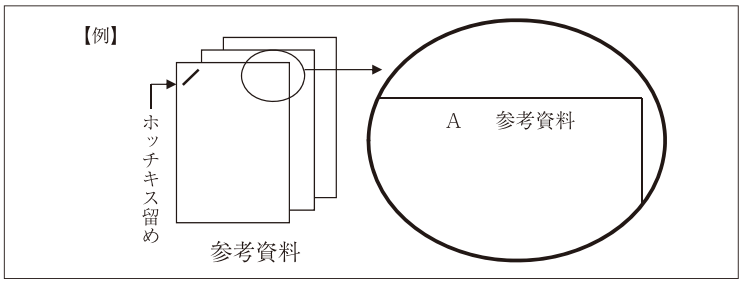
（２）　入力項目は以下のとおりです。

①活動の名称
②活動期間（「２年以上」「１年以上２年未満」「６カ月以上１年未満」「３カ月以上６カ月未満」「３カ月未満」から選択します。）
③活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
④添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の（４）を参照してください。）

（３）「意欲的に取り組んだ活動」として入力できるのは１件のみです。

（４）　次の要領で参考資料を提出することができます。

①参考資料は、（２）の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
②資格・検定の取得に関する事柄を入力する場合は、合格証書や認定書、スコアシート等のコピーを必ず添付してください。
③その他の活動に関する参考資料の提出は任意ですが、添付する場合は「添付する参考資料の一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は「（参考資料を）添付する」を選択した場合に表示されます。
④参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A4サイズの用紙にコピーしてください。資料は、A4の表面３枚以内とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
⑤参考資料はホッチキス留めし、１枚目の右肩に「A参考資料」と明記してください。
⑥紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。



7　受験票等のダウンロード・印刷

受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（21ページ参照）。試験当日は、「愛媛大学受験票」（出願サイトからダウンロード・印刷したもの）と「大学入学共通テスト受験票」（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード・印刷したもの）を持参してください。

また、ダウンロードした「受験票」には、２枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

なお、「愛媛大学受験票」は入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

8　検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

①　検定料を納入したが、出願しなかった場合
②　検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
③　出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合
④　医学部医学科志願者で、２段階選抜に係る第１段階選抜に不合格となった場合
⑤　出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記④の場合は、13,000円を返還します。返還手続については、第１段階選抜結果通知の際にお知らせします。

上記⑤の場合は、13,000円（法文学部の「夜間主コース」は、7,800円）を返還します。返還手続については、「検定料相当額返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

（検定料返還に関する問い合わせ先）愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
Eメール　suitou@stu.ehime-u.ac.jp

9　注意事項

⑴　国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。詳細は公立大学協会Webサイト（https://www.kodaikyo.org/）を参照）を志願する者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部等から１つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部等から１つ、「中期日程」で試験を実施する公立大学・学部等から１つ、合計３つの大学・学部等に出願し、受験することができます。したがって、「前期－中期－後期」の併願は認めますが、「前期－前期」など同一日程での併願は認められません。

本学の学部・学科等間においても、「前期日程」から１つ、「後期日程」から１つの合計２つの学部又は同一学部の学科等に併願することができます。なお、教育学部では同一学部内で第２志望まで、農学部は同一学部内で第３志望まで志望学科等を選択することができます。

⑵　**各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません**ので、自分が受験した教科・科目と志願する学部・学科等が課している大学入学共通テストの教科・科目との照合を必ず行ってください。

⑶　**各学部・学科等が課している個別学力検査等の教科・科目等を１つでも受験しなかった場合は、合格者選考の対象となりません。**なお、教育学部では、第１志望の科目を受験していない場合は、第２志望の科目を受験しても合格者選考の対象となりません。

⑷　国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

⑸　国公立大学の「前期日程」の試験に合格し、入学手続を完了した者は、「中期日程」及び「後期日程」に出願し、受験しても、「中期日程」及び「後期日程」の大学・学部等の合格者とはなりえません。

⑹　国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。詳細は、公立大学協会Webサイト（https://www.kodaikyo.org/）を参照）の学校推薦型選抜に合格した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても、合格者とはなりえません。ただし、特別の事情があり、推薦した学校長から、令和９年２月17日（水）17時（必着）までに「推薦入学辞退願」を当該大学に提出し、許可を得た場合は、この限りではありません。

(7) 国公立大学の総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても合格者とはなりえません。総合型選抜の合格者は、令和９年２月17日(水)17時(必着)までに「入学辞退届」を当該大学に提出しない場合は、前期・後期日程試験の合格者とはなりえません。

(8) 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、志願学部の入試係（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）に連絡してください。なお、出願書類は返還しません。

(9) 出願受付後の出願取下げや出願書類の追加提出は認めません。

(10) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(11) 愛媛大学受験票（インターネット出願サイトよりダウンロード・印刷したもの）は、個別学力検査等受験、入学手続及び追加合格並びに入学試験個人成績の開示請求の際に必要になりますので、紛失したり、汚損したりすることのないように大切に保管しておいてください。

Ⅵ　入学者選抜方法

1　大学入学共通テスト、個別学力検査等及び出願書類に基づき、入学志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価・判定し、合格者を決定します。

2　医学部医学科（前期日程）では、入学志願者の募集人員に対する倍率が、約６倍を上回った場合、大学入学共通テストの成績及び出願書類（調査書）の内容により、２段階選抜を実施し、その第１段階選抜合格者に対してのみ、個別学力検査等を実施し、最終的な合格者を決定します。

なお、倍率が約６倍を超えた場合でも個別学力検査等を適切に実施できると判断したときは、２段階選抜を実施しないことがあります。

Ⅶ　入学者選抜の教科・科目及び配点等

(1) 大学入学共通テストの数学のグループ分け

グループ	科　目　名
数学①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』

(2) 大学入学共通テストの共通事項

◎ 利用教科・科目の採用方法は、学部・学科等により異なるので、学部・学科等が指定する科目及び採用方法を必ず確認すること。

◎『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の３つの出題範囲のうち、２つを選択解答する。

◎ 地理歴史と公民を２科目選択する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目（『地理総合』と『地理総合、地理探究』等）の組合せを選択することはできない。

◎『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の４つの出題範囲のうち、２つを選択解答する。

◎ 理科における同一名称を含む出題範囲と科目とは、「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』及び「地学基礎」と『地学』をいう。

◎ 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングで構成する。

法文学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

<table>
<tr><th>日程</th><th>学科等</th><th colspan="5">受験を要する教科・科目等
教科・科目の採用方法</th><th>本人確認欄</th></tr>
<tr><td rowspan="8">前期日程</td><td rowspan="8">人文社会学科
「昼間主コース」
「夜間主コース」</td><td rowspan="8">6又は
7教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">2科目選択</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td><td rowspan="2">1又は2科目選択</td><td rowspan="3">2教科
3科目
選択</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>1又は2科目選択</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td colspan="2">1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td colspan="2">必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">◆「数学」2科目及び「理科」2科目の計4科目を受験している場合は、次のとおり成績を採用する。
第1に「数学」の2科目のうち、高得点1科目と「理科」の第1解答科目を採用する。
第2に、第1で採用されていない「数学」の科目と「理科」の第2解答科目のうち、高得点1科目を採用する。
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照）
（注2参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">後期日程</td><td rowspan="8">人文社会学科
「昼間主コース」
「夜間主コース」</td><td rowspan="8">3教科
3科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="5">1科目選択</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">◆「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」及び「情報」において、計2科目以上を受験している場合は、
「地理歴史、公民」の第1解答科目、「数学」、「理科」の第1解答科目及び「情報」のうち、
高得点1科目を採用する。
（注2参照）</td></tr>
</table>

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

2　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学　科　等	教　科	科　目　等	試験時間
前期日程	人文社会学科「昼間主コース」	国　語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	100分
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ	100分
	人文社会学科「夜間主コース」	国　語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	100分
後期日程	人文社会学科「昼間主コース」	小論文		120分
	人文社会学科「夜間主コース」			

3　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

学科等＼試験教科等	大学入学共通テスト									個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	情報	外国語	計	国語	外国語	出願書類(調査書)	計
人文社会学科「昼間主コース」	200	100	100	(50)	(50)	(50)又は(100)	50	200	800	250	250	70	570
人文社会学科「夜間主コース」	200	100	100	(50)	(50)	(50)又は(100)	50	200	800	250	－	60	310

後期日程

学科等＼試験教科等	大学入学共通テスト									個別学力検査等		
	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	情報	外国語	計	小論文	出願書類(調査書)	計
人文社会学科「昼間主コース」	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500	200	40	240
人文社会学科「夜間主コース」	200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500	200	40	240

注1　（　）は、選択科目の配点を示します。
注2　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注3　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

4　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
前期日程	人文社会学科「昼間主コース」「夜間主コース」	国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容に基づき、人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には、近代以降の文章や古典の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力･想像力･認識力など読解力にかかわる力、さらに、それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。
		調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
	人文社会学科「昼間主コース」	外国語	「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢであるので、その範囲内での総合的基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 基礎学力とは、幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言う。従って、本学部の英語試験は、大学入学共通テストではカバーできない、総合的な読解力と表現力の達成度を採点・評価基準とする。
後期日程	人文社会学科「昼間主コース」「夜間主コース」	小論文	以下の諸点を評価の目安とする。 1．題意を十分把握していること。 2．具体的な考察がなされていること。 3．論理的な考察がなされ、論理の逸脱、飛躍がないこと。 4．構想力が優れていること。 5．表現力が優れていること。 6．発想がユニークであること。 7．誤字・脱字のないこと。
		調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。

5　合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程 ＼ 事項 ／ 学科等	合否判定基準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程・後期日程			
人文社会学科「昼間主コース」「夜間主コース」	○		同点者は、同順位とする。

教育学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

<table>
<tr><th>日程</th><th colspan="2">課　程　等</th><th colspan="4">受験を要する教科・科目等
教科・科目の採用方法</th><th>本人確認欄</th></tr>
<tr><td rowspan="11">前期日程</td><td rowspan="11">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="11">教育発達実践コース
幼年教育サブコース
特別支援教育サブコース
小学校教育サブコース
初等中等教科コース
言語社会教育サブコース
（国語教科
社会教科
外国語（英語）教科）
科学教育サブコース
（算数・数学教科
理科教科
技術・情報教科）
生活健康・芸術教育サブコース
家庭教科
体育・保健体育教科
音楽教科
図画工作・美術教科</td><td rowspan="10">6教科
7科目</td><td>国　語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地　理
歴　史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公　民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数　学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理　科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情　報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2参照）</td><td></td></tr>
</table>

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

2　志望コース・サブコース・教科の選択

15ページの表１に示すサブコース･教科の組合せにおいて、第２志望を認めます。詳細は15ページをご確認ください。

3　個別学力検査等の教科・科目等

16ページの表２に示す第１志望のサブコース・教科が指定する科目１科目を受験してください。詳細は15 ～ 16ページをご確認ください。

（注）第２志望として、体育・保健体育教科、音楽教科、図画工作・美術教科を志望し、第１志望の教科として実技科目以外を選択した場合は、志望する教科が指定する実技科目１科目も選択し、２科目受験してください。

日程	課程等				教科	科目等		試験時間
前期日程	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース 特別支援教育サブコース		国　語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	国語・数学・理科・外国語から１教科選択	100分
					数　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）　（注１参照）		
					理　科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学　から１科目選択　（注２～注５参照）		
					外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ		
					集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）			
			小学校教育サブコース		国　語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	国語・数学・理科・外国語・実技検査等から１教科選択	100分
					数　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）　（注１参照）		
					理　科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学　から１科目選択　（注２～注５参照）		
					外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ		
					実技検査等	グループワーク、体育実技、音楽実技、美術実技から1つ選択 実技検査内容については33ページを参照してください。		
					集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）			
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース	（国語教科、社会教科、外国語（英語）教科）	国　語	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究	国語・数学・理科・外国語から１教科選択	100分
					数　学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）　（注１参照）		
			科学教育サブコース	（算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科）	理　科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学　から１科目選択　（注２～注５参照）		
					外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ・論理・表現Ⅰ・論理・表現Ⅱ・論理・表現Ⅲ		
					集団面接（出願書類（調査書、活動報告書）の評価を含む。）			
			生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	グループワーク 実技検査等内容については33ページを参照してください。			
					集団面接（出願書類（調査書、活動報告書）の評価を含む。）			
				体育・保健体育教科	実技検査（体育実技） 実技検査内容については33ページを参照してください。			
					集団面接（出願書類（調査書、活動報告書）の評価を含む。）			
				音楽教科	実技検査（音楽実技） 実技検査内容については33ページを参照してください。			
					集団面接（出願書類（調査書、活動報告書）の評価を含む。）			
				図画工作・美術教科	実技検査（美術実技） 実技検査内容については33ページを参照してください。			
					集団面接（出願書類（調査書、活動報告書）の評価を含む。）			

注１　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。
注２　理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
注３　理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
注４　理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
注５　理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

実技検査内容

学校教育教員養成課程　教育発達実践コース　小学校教育サブコース〔前期日程〕グループワークを選択した者
学校教育教員養成課程　初等中等教科コース　生活健康・芸術教育サブコース　家庭教科〔前期日程〕

検　　査　　内　　容
生活課題に関するグループワーク

学校教育教員養成課程　教育発達実践コース　小学校教育サブコース〔前期日程〕体育実技を選択した者
学校教育教員養成課程　初等中等教科コース　生活健康・芸術教育サブコース　体育・保健体育教科〔前期日程〕

検　　査　　内　　容
1　共通実技 器械運動、陸上競技 2　選択実技 バスケットボール、サッカー、バレーボールから２種目を選択

注　受験者は、次のものを持参すること。
・運動に適する服装　　・屋内用シューズ（＊実技検査は体育館で実施する。）

学校教育教員養成課程　教育発達実践コース　小学校教育サブコース〔前期日程〕音楽実技を選択した者

検　　査　　内　　容
1　弾き歌い 小学校・中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。簡易伴奏も可。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパート又は主旋律を歌う。 2　独奏曲 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注１　任意の独奏曲は自作曲も可とする。ただし、願書に添えて楽譜を提出すること。
注２　受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程　初等中等教科コース　生活健康・芸術教育サブコース　音楽教科〔前期日程〕

検　　査　　内　　容
1　弾き歌い 小学校・中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。簡易伴奏も可。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパート又は主旋律を歌う。 2　独奏曲 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。

注１　任意の独奏曲は自作曲も可とする。ただし、願書に添えて楽譜を提出すること。
注２　上記の実技検査は、入学後における研究分野及び卒業研究と関連するものではない。
注３　受験者は上履きを持参すること。

学校教育教員養成課程　教育発達実践コース　小学校教育サブコース〔前期日程〕美術実技を選択した者
学校教育教員養成課程　初等中等教科コース　生活健康・芸術教育サブコース　図画工作・美術教科〔前期日程〕

検　　査　　内　　容
鉛筆による静物デッサン

注１　描画画材（鉛筆、消しゴム他）は、各自持参すること。
注２　カルトン、画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は、本学で準備する。

4　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

日程	課程等			教科等／試験	大学入学共通テスト 国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	計	個別学力検査等 国語	数学	理科	外国語	実技等	面接等	計
前期日程	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース 特別支援教育サブコース		200	100		100	100	100	200	50	850	(200)	(200)	(200)	(200)	－	150	350
			小学校教育サブコース		200	100		100	100	100	200	50	850	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	150	350
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース	(国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)	200	100		100	100	100	200	50	850	(200)	(200)	(200)	(200)	－	150	350
			科学教育サブコース	(算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)	200	100		100	100	100	200	50	850	(200)	(200)	(200)	(200)	－	150	350
			生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	200	100		100	100	100	200	50	850	－	－	－	－	200	150	350
				体育・保健体育教科	200	100		100	100	100	200	50	850	－	－	－	－	400	150	550
				音楽教科	200	100		100	100	100	200	50	850	－	－	－	－	500	150	650
				図画工作・美術教科	200	100		100	100	100	200	50	850	－	－	－	－	500	150	650

注1　（　）は、選択科目の配点を示します。
注2　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注3　出願書類（調査書、活動報告書）は、集団面接に含めて評価します。
注4　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

5　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	課程等			教科等	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース　幼年教育サブコース 特別支援教育サブコース 小学校教育サブコース 初等中等教科コース　言語社会教育サブコース 科学教育サブコース 生活健康・芸術教育サブコース		集団面接	教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを調査書、活動報告書を含めて総合的に評価する。
		教育発達実践コース　幼年教育サブコース 特別支援教育サブコース 小学校教育サブコース 初等中等教科コース　言語社会教育サブコース 科学教育サブコース		国語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容に基づき、人間活動の基盤となる言語による思考・認識の能力を評価する。 具体的には、近代以降の文章や古典の文章をもとに、文字力・語彙力・文法力など言語にかかわる力、思考力・想像力・認識力など読解力にかかわる力、さらに、それらの力の表出を通して捉えられる表現する力などを総合的に評価する。
				外国語	外国語（英語）での読解に関する問題、外国語（英語）での表現に関する問題を通して、思考力・判断力・表現力及び外国語（英語）コミュニケーション能力を総合的に評価する。
				数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるか問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
				物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
				化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
				生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。
				地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		教育発達実践コース　小学校教育サブコース		グループワーク	生活や社会に関する課題を提示し、その課題についての議論や作業中の姿から、本学部で学ぶことへの興味・関心、小学校の教員を目指す上で求められる家庭科に関する知識を活用した思考力・判断力・表現力、他者との協働性および主体性を評価する。
				体育実技	各種の運動における合理的な実践にむけた体育の技能について評価する。なかでも、小学校の教員を目指す上で求められる運動に関する基礎的な知識、技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。
				音楽実技	小学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる基礎的能力（表現力、創造力）を、演奏の試験を通して総合的に評価する。
				美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に必要な基礎的能力を評価する。また、図画工作・美術の指導に必要な知識、技能、及び思考力・判断力・表現力を評価の対象とする。
		初等中等教科コース	生活健康・芸術教育サブコース　家庭教科	グループワーク	生活や社会に関する課題を提示し、その課題についての議論や作業中の姿から、本学部で家庭科教育について学ぶことへの興味・関心、小学校・中学校・高等学校の教員を目指す上で求められる家庭科に関する知識を活用した思考力・判断力・表現力、他者との協働性及び主体性を評価する。
			体育・保健体育教科	体育実技	各種の運動における合理的な実践にむけた体育の技能について評価する。なかでも、小学校、中学校の教員を目指す上で求められる運動に関する基礎的な知識、技能とそれらを活用した思考力・判断力・表現力などを評価する。
			音楽教科	音楽実技	小学校、中学校の音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる能力（表現力、創造力）を、演奏の試験を通して総合的に評価する。
			図画工作・美術教科	美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に必要な基礎的能力を評価する。また、図画工作・美術科指導に必要な知識、技能及び思考力・判断力・表現力を評価の対象とする。

6　合否判定基準

日程	事項／課程等		合否判定基準		
			総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者及び第２志望の順位決定基準
前期日程	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース 初等中等教科コース 言語社会教育サブコース 科学教育サブコース 生活健康・芸術教育 サブコース家庭教科		集団面接の評価が著しく低い場合	教育発達実践コース、初等中等教科コース言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース家庭教科受験者全員を第１志望及び第２志望にかかわらず、総合点により順位を付ける。体育・保健体育教科、音楽教科、図画工作・美術教科を第１志望とし実技試験を受験したものは実技試験の点数を200点として順位を付ける。 ①　同点者は大学入学共通テストの得点により順位を付ける。 ②　①によっても同順位者がいる場合は、集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）の得点により順位を付ける。 ③　②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 第１志望と第２志望の両方において合格基準を満たしている場合は、第１志望を優先する。なお、同点者が第１志望とする者と第２志望とする者であった場合は、第１志望とする者を上位とする。
		初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 体育・保健体育教科			初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース体育・保健体育教科受験者全員を第１志望及び第２志望にかかわらず、総合点により順位を付ける。教育発達実践コース小学校教育サブコースを第１志望とし体育実技を受験した者は実技試験の点数を400点として順位を付ける。 ①　同点者は大学入学共通テストの得点により順位を付ける。 ②　①によっても同順位者がいる場合は、集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）の得点により順位を付ける。 ③　②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 第１志望と第２志望の両方において合格基準を満たしている場合は、第１志望を優先する。なお、同点者が第１志望とする者と第２志望とする者であった場合は、第１志望とする者を上位とする。
		初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 音楽教科			初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース音楽教科受験者全員を第１志望及び第２志望にかかわらず、総合点により順位を付ける。教育発達実践コース小学校教育サブコースを第１志望とし音楽実技を受験した者は実技試験の点数を500点として順位を付ける。 ①　同点者は大学入学共通テストの得点により順位を付ける。 ②　①によっても同順位者がいる場合は、集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）の得点により順位を付ける。 ③　②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 第１志望と第２志望の両方において合格基準を満たしている場合は、第１志望を優先する。なお、同点者が第１志望とする者と第２志望とする者であった場合は、第１志望とする者を上位とする。
		初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 図画工作・美術教科			初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース図画工作・美術教科受験者全員を第１志望及び第２志望にかかわらず、総合点により順位を付ける。教育発達実践コース小学校教育サブコースを第１志望とし美術実技を受験した者は実技試験の点数を500点として順位を付ける。 ①　同点者は大学入学共通テストの得点により順位を付ける。 ②　①によっても同順位者がいる場合は、集団面接（出願書類（調査書・活動報告書）の評価を含む。）の得点により順位を付ける。 ③　②によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 第１志望と第２志望の両方において合格基準を満たしている場合は、第１志望を優先する。なお、同点者が第１志望とする者と第２志望とする者であった場合は、第１志望とする者を上位とする。

社会共創学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

<table>
<tr><th>日程</th><th>学科等</th><th colspan="5">受験を要する教科・科目等
教科・科目の採用方法</th><th>本人確認欄</th></tr>
<tr><td rowspan="11">前期日程</td><td rowspan="5">産業マネジメント学科</td><td rowspan="9">6又は
7教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">2科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">◆「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">産業イノベーション学科</td><td rowspan="9">6教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>2科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照）
（注2参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">環境デザイン学科</td><td rowspan="8">6又は
7教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td colspan="2">必須</td><td></td></tr>
<tr><td>数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td><td colspan="2">1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td colspan="2">必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1又は2科目選択</td><td rowspan="3">2教科
3科目
又は
3教科
3科目
選択</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>1又は2科目選択</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td colspan="2">1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td colspan="2">必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">◆「地理歴史、公民」2科目及び「理科」2科目の計4科目を受験している場合は、次のとおり成績を採用する。
第1に「地理歴史、公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目を採用する。
第2に「地理歴史、公民」の第2解答科目と「理科」の第2解答科目のうち高得点1科目を採用する。
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照）
（注2参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">地域資源マネジメント学科</td><td rowspan="8">6又は
7教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">2科目選択</td><td rowspan="7"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』</td><td>1科目選択</td></tr>
<tr><td></td><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>1科目選択</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">◆「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2参照）</td></tr>
</table>

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

2　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学　科　等	教科・科目等	試験時間
前期日程	産業マネジメント学科	総合問題	80分
	産業イノベーション学科	小論文	80分
		面　接	
	環境デザイン学科	小論文	80分
		面　接	
	地域資源マネジメント学科	小論文	80分
		面　接	

3　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

日程：前期日程

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

学科等＼試験教科等	大学入学共通テスト								個別学力検査等				
	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	情報	外国語	計	総合問題	小論文	面接	出願書類（調査書）	計
産業マネジメント学科	200	200		50	50	50	25	200	775	300	－	－	40	340
産業イノベーション学科	100	50		100	100	200	50	100	700	－	100	300	－	400
環境デザイン学科	150	＊50又は＊100又は＊150		75	75	＊50又は＊100又は＊150	25	150	675	－	150	150	－	300
地域資源マネジメント学科	100	△	△	△	△	△	25	100	525	－	250	250	50	550

注1　＊は、最高得点の科目の配点を100点とし、その他の2科目の配点は50点とします。
注2　△は、最高得点の科目の配点を100点とし、その他の4科目の配点は50点とします。
注3　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

英語の配点	リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
100点としている場合	80点	20点	100点	リーディングを100点とする。
150点としている場合	120点	30点	150点	リーディングを150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注4　産業イノベーション学科及び環境デザイン学科においては、出願書類（調査書）は、面接に含めて評価します。
注5　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

4　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学　科　等	教科等	採　点・評　価　基　準（一 般 的 基 準）
前期日程	産業マネジメント学科	総合問題	本学科において学ぶために共通して必要な能力である「知識･理解」「思考･判断」「興味･関心・意欲・協働」「技能・表現」を評価する。地域的な視点からグローバルな視点における多様な社会の事象や諸問題について、提示された図表の読み取り又は文章などの資料の読解を通じて総合的に評価する。
		調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
	産業イノベーション学科	小論文	提示された課題に対して記述・論述することで、本学科において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。
		面　接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、水産業、紙産業又はものづくり産業への関心や意欲について評価する。なお、調査書（調査書を提出できない場合は、活動調書）は面接に含めて評価する。
	環境デザイン学科	小論文	提示された課題に対して記述・論述することで、本学科において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。
		面　接	これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、自然環境や社会環境に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識･理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。なお、調査書（調査書を提出できない場合は、活動調書）は面接に含めて評価する。
	地域資源マネジメント学科	小論文	提示された課題に対して記述・論述することで、本学科において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。
		面　接	調査書を参考に、これまでの活動（部活動、ボランティア活動、生徒会、学校行事、課題研究、資格取得、留学など）、志望理由、学習意欲、目的意識、地域資源や地域社会に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。
		調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。

5　合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事項／学科等	合否判定基準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程	産業マネジメント学科	○		同点者は、同順位とする。
	産業イノベーション学科 環境デザイン学科 地域資源マネジメント学科		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。

理学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

<table>
<tr><th>日程</th><th colspan="2">学科等</th><th colspan="4">受験を要する教科・科目等
教科・科目の採用方法</th><th>本人確認欄</th></tr>
<tr><td rowspan="10">前期日程</td><td rowspan="10">理学科</td><td rowspan="10">数学受験
物理受験
化学受験
生物受験
地学受験</td><td rowspan="9">6教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>2科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2参照）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="10">後期日程</td><td rowspan="10">理学科</td><td rowspan="10">A（数学）
B（面接）</td><td rowspan="9">6教科
8科目</td><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>2科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
（注2参照）</td><td></td></tr>
</table>

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

2　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学科等		教科	科目等	試験時間
前期日程	理学科	数学受験	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注１参照）	120分
		物理受験	理科	物理基礎・物理（注２参照）	100分
		化学受験	理科	化学基礎・化学（注３参照）	100分
		生物受験	理科	生物基礎・生物（注４参照）	100分
		地学受験	理科	地学基礎・地学（注５参照）	100分
後期日程	理学科	A（数学）	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注１参照）		120分
		B（面接）	面接（口頭試問を含む。）		

注１　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
注２　理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
注３　理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
注４　理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
注５　理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

3　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

学科等＼試験教科等		大学入学共通テスト									個別学力検査等			
		国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	計	数学	理科	出願書類（調査書）	計
理学科	数学受験	100	(50)	(50)	75	75	200	200	50	750	300	－	100	400
	物理受験	100	(50)	(50)	100	100	150	200	50	750	－	300	100	400
	化学受験	100	(50)	(50)	100	100	150	200	50	750	－	300	100	400
	生物受験	100	(50)	(50)	100	100	150	200	50	750	－	300	100	400
	地学受験	100	(50)	(50)	100	100	150	200	50	750	－	300	100	400

後期日程

学科等＼試験教科等		大学入学共通テスト									個別学力検査等			
		国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	計	数学	面接	出願書類（調査書）	計
理学科	A（数学）	100	(50)	(50)	100	100	200	150	50	750	300	－	100	400
	B（面接）	100	(50)	(50)	100	100	200	150	50	750	－	300	100	400

注１　（　）は、選択科目の配点を示します。
注２　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

英語の配点	リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	リーディングを150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注３　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

4　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学科等		教科等	採点・評価基準（一般的基準）
前期日程	理学科	理学科共通	調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
		数学受験	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
		物理受験	物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		化学受験	化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		生物受験	生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的及び総合的に考察する能力が養われているかを評価する。
		地学受験	地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
後期日程	理学科	理学科共通	調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
		A（数学）	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
		B（面接）	面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、理解力、表現力などについて総合的に評価する。

5　合否判定基準〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程 ＼ 事項 ／ 学科	合否判定基準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程・後期日程	理学科	○		同点者は、同順位とする。

医学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

日程	学科	受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人確認欄
前期日程	医学科	6教科8科目	国語	『国語』	必須	
			地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択	
			公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
			数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
				②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
			理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	2科目選択	
			外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）	1科目選択	
			情報	『情報Ⅰ』	必須	
		◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。（注2参照）				
	看護学科	6教科6科目	国語	『国語』	必須	
			数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
				②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
			地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択	
			公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択	
			外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）	1科目選択	
			情報	『情報Ⅰ』	必須	
		◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。（注2参照）				

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

2　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学科	教科	科目等	試験時間
前期日程	医学科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注１参照）	120分
		理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学（注２、注３参照）	100分
		総合問題	（注４参照）	120分
		面接		
	看護学科	小論文	（注５参照）	120分
		面接		

注１　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
注２　理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
注３　理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
注４　日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で、その内容に関連した事項などについて日本語や英語で記述させる問題や自らの考えを日本語や英語で記述させる問題を出題します。
注５　和文と英文による小論文（解答は和文による。）とします。

3　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

日程	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程	試験／教科等／学科	大学入学共通テスト									個別学力検査等					
		国語	地理歴史	公民	数学		理科	情報	外国語	計	数学	理科	総合問題	小論文	面接	計
					①	②										
	医学科	100	(50)	(50)	50	50	100	50	100	500	200	200	200	－	100	700
	看護学科	100	(△)		(△)		(△)	△	100	450	－	－	－	200	100	300

注１　（　）は、選択科目の配点を示します。
注２　△は、最高得点の科目の配点を100点とし、その他の３科目の配点は50点とします。
注３　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

注４　出願書類（調査書）は、面接に含めて評価します。
注５　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

4　２段階選抜について（医学科志願者のみ）

（1）２段階選抜の実施

医学部医学科（前期日程）では、入学志願者の募集人員に対する倍率が、約６倍を上回った場合、大学入学共通テストの成績及び出願書類（調査書）の内容により、２段階選抜を実施し、その第１段階選抜合格者に対してのみ、個別学力検査等を実施し、最終的な合格者を決定します。

なお、倍率が約６倍を超えた場合でも個別学力検査等を適切に実施できると判断したときは、２段階選抜を実施しないことがあります。２段階選抜実施の有無については、令和９年２月10日（水）に本学Webサイトに掲載します。

（2）２段階選抜に係る第１段階選抜の選考結果発表

選抜の結果は、令和９年２月10日（水）に、合格者の大学入学共通テスト受験番号を本学Webサイトに掲載します。

（3）２段階選抜を実施した場合

合　格　者	・受験票ダウンロード期間内に、インターネット出願サイトにログインし、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください。ダウンロードした「受験票」には、２枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。（21ページ参照）
不合格者	・２段階選抜に係る第１段階選抜の選考結果通知書を郵送します。 ・検定料の返還手続についてお知らせしますので、所定の手続を行ってください。（26ページ参照）

（4）２段階選抜を実施しない場合

全　　員	・２段階選抜を実施しない旨を本学Webサイトに掲載します。 ・受験票ダウンロード期間内に、インターネット出願サイトにログインし、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください。ダウンロードした「受験票」には、２枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。（21ページ参照）

5　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学　科	教科等	採　点・評　価　基　準（一般的基準）
前期日程	医　学　科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
		物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		総合問題	日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で、論述、解答させることにより、読解力、論述力、記述力を評価する。内容面では、医療の社会性に対する認識、科学論文等に対する理解力、推理力などを評価する。
		面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点･評価する。なお、調査書（調査書を提出できない場合は、活動調書）は面接に含めて評価する。
	看　護　学　科	小論文	文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力などを総合的に採点・評価する。
		面接	面接時の態度や質問に対する応答をもとに、看護の専門職を目指すという目的意識や情熱、人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、社会性や協調性、思考力や表現力などを総合的に判断して採点・評価する。なお、調査書（調査書を提出できない場合は、活動調書）は面接に含めて評価する。

6　合否判定基準

日程	事項／学科	合否判定基準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程	医学科		面接の評価あるいは筆記試験の得点が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、個別学力検査の得点により順位を付ける。 ③ 個別学力検査の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの「外国語」の得点により順位を付ける。 ④ 大学入学共通テストの「外国語」の得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」（旧調査書の場合は「全体の評定平均値」）が高い順とする。
	看護学科		面接の評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの総合得点が高い順とする。

工学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

日程	学科等		受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人確認欄
前期日程	工学科	理型入試A 理型入試B デジタル情報人材育成特別プログラム	6教科8科目	国語	『国語』	必須	
				地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択	
				公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
				数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
					②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	2科目選択	
				外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）	1科目選択	
				情報	『情報Ⅰ』	必須	
			◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照） （注2参照）				
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	6教科7科目	国語	『国語』	必須	
				地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択	
				公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
				数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
					②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択	
				外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）	1科目選択	
				情報	『情報Ⅰ』	必須	
			◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 （注2参照）				
後期日程	工学科	理型入試 デジタル情報人材育成特別プログラム	6教科8科目	国語	『国語』	必須	
				地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1科目選択	
				公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
				数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
					②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	2科目選択	
				外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）	1科目選択	
				情報	『情報Ⅰ』	必須	
			◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照） （注2参照）				
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	3～5教科4～6科目	数学	①　『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	1科目選択	
					②　『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
				国語	『国語』	2教科2科目又は2教科3科目又は2教科4科目又は3教科3科目又は3教科4科目又は4教科4科目選択	
				地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』		
				公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）		
				理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
				外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注1参照）		
				情報	『情報Ⅰ』		
			数学①及び数学②以外の科目は、以下のパターン1からパターン3のうち最も点数が高くなる組合せを採用する。 パターン1：「国語」と「外国語」 パターン2：「国語」又は「外国語」と、「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」から2科目 パターン3：「地理歴史、公民」、「理科」、「情報」から4科目 ◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を優先して採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を優先して採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照） （注2参照）				

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

2　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学科等		教科	科目等	試験時間
前期日程	工学科	理型入試A	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注1参照）	120分
			理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択（注2、注3、注4参照）	100分
		理型入試B	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）（注5参照）	100分
			理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目選択（注2、注3、注4参照）	100分
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）（注5参照）	100分
		デジタル情報人材育成特別プログラム	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注1参照）	120分
後期日程	工学科	理型入試	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注1参照）	120分
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	面接		
		デジタル情報人材育成特別プログラム	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）（注1参照）	120分

注1　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
注2　理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
注3　理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
注4　理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
注5　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。

3　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

学科等＼教科等＼試験		大学入学共通テスト									個別学力検査等			
		国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	数学	理科	出願書類（調査書）	計
					①	②								
工学科	理型入試A	100	(50)	(50)	100	100	200	150	50	750	200	100	50	350
	理型入試B	100	(50)	(50)	100	100	200	150	50	750	100	200	50	350
	文理型入試（建築・社会デザインコース）	150	(150)	(150)	75	75	150	200	50	850	200	－	50	250
	デジタル情報人材育成特別プログラム	50	(50)	(50)	100	100	150	150	200	800	200	－	50	250

後期日程

学科等＼教科等＼試験		大学入学共通テスト									個別学力検査等			
		国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	数学	面接	出願書類（調査書）	計
					①	②								
工学科	理型入試	100	(50)	(50)	75	75	200	200	50	750	300	－	50	350
	文理型入試（建築・社会デザインコース）	(200)	(100)又は(200)	(100)又は(200)	100	100	(100)又は(200)	(200)	(100)	600	－	100	50	150
	デジタル情報人材育成特別プログラム	50	(50)	(50)	100	100	150	150	400	1000	200	－	50	250

注1　（　）は、選択科目の配点を示します。
注2　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

英語の配点	リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	リーディングを150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注3　「調査書」を提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

4　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学科等		教科等	採点・評価基準（一般的基準）
前期日程	工学科	理型入試A、理型入試B、文理型入試、デジタル情報人材育成特別プログラム共通	数学	理型入試B及び文理型入試（建築・社会デザインコース）は、数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学B・数学C、理型入試A及びデジタル情報人材育成特別プログラムは、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
			調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
		理型入試A、理型入試B	物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
			化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
			生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基礎的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。
後期日程	工学科	理型入試、文理型入試、デジタル情報人材育成特別プログラム共通	調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
		理型入試、デジタル情報人材育成特別プログラム	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	面接	目的意識、学習意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。

工学部

5　合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事項／学科等		合否判定基準		
			総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程	工学科	理型入試A	○		同点者は、同順位とする。
		理型入試B	○		同点者は、同順位とする。
		文理型入試（建築・社会デザインコース）	○		同点者は、同順位とする。
		デジタル情報人材育成特別プログラム	○		同点者は、同順位とする。
後期日程	工学科	理型入試	○		①　総合点が同点の場合は、個別学力検査の数学の得点により順位を付ける。 ②　個別学力検査の数学の得点が同点の場合は、同順位とする。
		文理型入試（建築・社会デザインコース）		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
		デジタル情報人材育成特別プログラム	○		同点者は、同順位とする。

農学部

1　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

<table>
<tr><th>日程</th><th>学　科</th><th colspan="4">受験を要する教科・科目等
教科・科目の採用方法</th><th>本人確認欄</th></tr>
<tr><td rowspan="9">前期日程</td><td rowspan="9">食料生産学科
生命機能学科
生物環境学科</td><td rowspan="9">6教科
8科目</td><td>国　語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公　民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数　学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理　科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>2科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情　報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照）
（注2参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">後期日程</td><td rowspan="9">食料生産学科
生命機能学科
生物環境学科</td><td rowspan="9">6教科
8科目</td><td>国　語</td><td colspan="2">『国語』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td colspan="2">『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、
『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』</td><td rowspan="2">1科目選択</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>公　民</td><td colspan="2">『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、
『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数　学</td><td>①</td><td>『数学Ⅰ、数学A』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td>『数学Ⅱ、数学B、数学C』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td>理　科</td><td colspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、
『物理』、『化学』、『生物』、『地学』</td><td>2科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
（注1参照）</td><td>1科目選択</td><td></td></tr>
<tr><td>情　報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td><td>必須</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は27ページ参照）
（注2参照）</td></tr>
</table>

注1　大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2　◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

2　志望学科の選択

前期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

後期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

※なお、第2志望・第3志望は「なし」でも構いません。

3　個別学力検査等の教科・科目等

日程	学科	教科	科目等	試験時間
前期日程	食料生産学科 生命機能学科 生物環境学科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル） （注1参照）	100分
		理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物、地学基礎・地学から1科目選択 （注2～注5参照）	100分
後期日程	食料生産学科 生命機能学科 生物環境学科	面接（口頭試問を含む。）		

注1　数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。
注2　理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
注3　理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
注4　理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
注5　理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

4　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

学科＼試験教科等	大学入学共通テスト								個別学力検査等			
	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	計	数学	理科	出願書類（調査書）	計
食料生産学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200	100	500
生命機能学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200	100	500
生物環境学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200	100	500

後期日程

学科＼試験教科等	大学入学共通テスト									個別学力検査等	
	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報	計	面接	計
食料生産学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200
生命機能学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200
生物環境学科	200	100		100	100	200	200	50	950	200	200

注1　大学入学共通テストの「英語」の配点は、以下のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

注2　後期日程では、出願書類（調査書）は、面接に含めて評価します。
注3　「調査書」が提出できない場合は、「活動調書」を評価します。

5　個別学力検査等の採点・評価基準

日程	学　科	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
前期日程	全学科共通	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ及び数学A・数学B・数学Cの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。
		物理	物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		化学	化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		生物	生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与していて複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。
		地学	地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。
		調査書	「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。
後期日程	全学科共通	面接	食料生産、生命機能又は生物環境に関連する分野で関心をもっている問題への解決意欲、自己表現力及び一般的な基礎知識について評価する。なお、調査書（調査書を提出できない場合は、活動調書）は面接に含めて評価する。

農学部

6　合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事項／学科	合否判定基準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者及び第２志望、第３志望の順位決定基準
前期日程	全学科	○		学科ごとに、第１志望の受験者、第２志望の受験者、第３志望の受験者を合わせ、総合点の高い受験者から順位を付ける。 ①　同順位者がいる場合は、次の得点を比較して順位を付ける。 １）数学と理科（大学入学共通テスト及び個別学力検査）の得点の和 ２）１）が同点の場合は、外国語（大学入学共通テスト）の得点 ②　①によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 注　第１志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第２志望学科、第３志望学科では合格とならない。また、第２志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第３志望学科では合格とならない。
後期日程	全学科	○		学科ごとに、第１志望の受験者、第２志望の受験者、第３志望の受験者を合わせ、総合点の高い受験者から順位を付ける。 ①　同順位者がいる場合は、次の得点を比較して順位を付ける。 １）数学と理科（大学入学共通テスト）の得点の和 ２）１）が同点の場合は、外国語（大学入学共通テスト）の得点 ②　①によっても同順位者がいる場合は、同順位とする。 注　第１志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第２志望学科、第３志望学科では合格とならない。また、第２志望学科で合格となった場合、当該受験者は、第３志望学科では合格とならない。

Ⅷ　個別学力検査等の実施日時及び試験場

1　日時等

日程	学部	学科・課程等			個別学力検査等の日時			
					2月25日（木）			2月26日（金）
前期日程	法文学部	人文社会学科「昼間主コース」			外国語 9：00～10：40	国語 11：30～13：10		
		人文社会学科「夜間主コース」				国語 11：30～13：10		
	教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	幼年教育サブコース	理科・外国語 9：00～10：40	国語・数学 11：30～13：10		集団面接 9：30～
				特別支援教育サブコース	理科・外国語 9：00～10：40	国語・数学 11：30～13：10		
				小学校教育サブコース	理科・外国語 9：00～10：40	国語・数学 11：30～13：10	実技検査 （体育実技） 14：00～	
							実技検査 （音楽実技） 14：00～	
							実技検査 （美術実技） 14：00～16：00	
					実技検査等 （グループワーク） 9：00～			
			初等中等教科コース	言語社会教育サブコース（国語教科、社会教科、外国語（英語）教科）	理科・外国語 9：00～10：40	国語・数学 11：30～13：10		
				科学教育サブコース（算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科）	理科・外国語 9：00～10：40	国語・数学 11：30～13：10		
				生活健康・芸術教育サブコース　家庭教科	実技検査等 （グループワーク） 9：00～			
				生活健康・芸術教育サブコース　体育・保健体育教科			実技検査 （体育実技） 14：00～	
				生活健康・芸術教育サブコース　音楽教科			実技検査 （音楽実技） 14：00～	
				生活健康・芸術教育サブコース　図画工作・美術教科			実技検査 （美術実技） 14：00～16：00	
	社会共創学部	産業マネジメント学科			総合問題 9：00～10：20			
		産業イノベーション学科			小論文 9：00～10：20	面接 小論文終了後～		
		環境デザイン学科			小論文 9：00～10：20	面接 小論文終了後～		
		地域資源マネジメント学科			小論文 9：00～10：20	面接 小論文終了後～		

<table>
<tr><th rowspan="2">日程</th><th rowspan="2">学部</th><th colspan="2" rowspan="2">学科・課程等</th><th colspan="4">個別学力検査等の日時</th></tr>
<tr><th colspan="3">2月25日（木）</th><th>2月26日（金）</th></tr>
<tr><td rowspan="8">前期日程</td><td rowspan="2">理学部</td><td rowspan="2">理学科</td><td>数学受験</td><td></td><td>数学
11：30～13：30</td><td></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>物理受験
化学受験
生物受験
地学受験</td><td>理科
9：00～10：40</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>医学部</td><td colspan="2">医学科</td><td>理科
9：00～10：40</td><td>数学
11：30～13：30</td><td>総合問題
14：40～16：40</td><td>面接
9：00～ ※</td></tr>
<tr><td>医学部</td><td colspan="2">看護学科</td><td>小論文
9：00～11：00</td><td colspan="2">面接
12：15～ ※</td><td>面接
9：00～ ※</td></tr>
<tr><td rowspan="4">工学部</td><td rowspan="4">工学科</td><td>理型入試A</td><td>理科
9：00～10：40</td><td>数学
11：30～13：30</td><td></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>理型入試B</td><td>理科
9：00～10：40</td><td>数学
11：30～13：10</td><td></td></tr>
<tr><td>文理型入試
（建築・社会デザインコース）</td><td></td><td>数学
11：30～13：10</td><td></td></tr>
<tr><td>デジタル情報人材育成
特別プログラム</td><td></td><td>数学
11：30～13：30</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">農学部</td><td colspan="2">食料生産学科</td><td rowspan="3">理科
9：00～10：40</td><td rowspan="3">数学
11：30～13：10</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">生命機能学科</td></tr>
<tr><td colspan="2">生物環境学科</td></tr>
</table>

※　医学部の面接の日時の詳細については、ダウンロードした「受験票」の２枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注１　集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の２枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注２　受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（21ページ参照）。試験当日は、「愛媛大学受験票」（出願サイトからダウンロード・印刷したもの）と「大学入学共通テスト受験票」（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード・印刷したもの）を必ず持参してください。

なお、「愛媛大学受験票」は、入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

日程	学部	学科・課程等		個別学力検査等の日時	
				3月12日(金)	
後期日程	法文学部	人文社会学科「昼間主コース」		小論文 9：00～11：00	
		人文社会学科「夜間主コース」			
	理学部	理学科	A（数学）	数学 9：00～11：00	
			B（面接）		面接 12：30～
	工学部	工学科	理型入試	数学 9：00～11：00	
			文理型入試（建築・社会デザインコース）		面接 13：00～
			デジタル情報人材育成特別プログラム	数学 9：00～11：00	
	農学部	食料生産学科		面接 9：00～	
		生命機能学科			
		生物環境学科			

注1　集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注2　受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（21ページ参照）。試験当日は、「愛媛大学受験票」（出願サイトからダウンロード・印刷したもの）と「大学入学共通テスト受験票」（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード・印刷したもの）を必ず持参してください。

なお、「愛媛大学受験票」は、入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

2　試験場

志願学部	試験場	所在地
法文学部	共通講義棟A	松山市文京町3番
教育学部	教育学部	松山市文京町3番
社会共創学部	共通講義棟B	松山市文京町3番
理学部	理学部	松山市文京町2番5号
医学部	医学部	東温市志津川
工学部	共通講義棟C・工学部本館・工学部4号館	松山市文京町3番
農学部	農学部	松山市樽味3丁目5番7号

注1　試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので必ず確認してください。

注2　試験場への経路は、71～74ページ「試験場・試験場案内・交通機関案内」を参照してください。

Ⅸ　受験上の注意

1　試験日前日（前期日程は令和９年２月24日（水）、後期日程は３月11日（木））の10時に、志願学部試験場の掲示場に、試験時間割、試験室、面接等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。

　なお、試験室の下見は認められません。

2　試験当日は、指定された時刻までに間に合うよう、時間に余裕をもって試験場に到着し、指定された試験室に入室してください。

3　試験開始時刻に遅刻した場合は、各学部の試験場入口の係員に申し出てください。試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。なお、試験時間の延長は行いません。ただし、面接等では別途、学部ごとに指示を行う場合がありますので、「愛媛大学受験票」と同時に印刷する連絡事項を確認してください。また、公共交通機関の遅延や事故等により、指定された時刻までに試験場に到着することが困難な場合には、当該時刻までに受験する学部へ連絡するとともに、試験場でもその旨を申し出てください。この場合、公共交通機関の遅延や事故等を証明する書類（遅延証明書等）の交付を受けてください。

4　試験当日は、**「愛媛大学受験票」**（出願サイトからダウンロード・印刷したもの）と**「大学入学共通テスト受験票」**（大学入学共通テスト出願サイトからダウンロード・印刷したもの）を必ず持参してください。（「愛媛大学受験票」は、入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。）

　受験票を試験当日忘れた場合は、早めに志願学部の試験場本部に行き、仮受験票の発行手続を行ってください。

5　試験時間中、机の上に置けるものは、上記４の受験票（２枚）のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと。）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ等を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。

※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。

6　試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていると不正行為となることがあります。なお、通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣服のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。また、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、受験上の合理的配慮申請が必要です。62ページ「Ⅹ　合理的配慮を希望する入学志願者の出願」を参照してください。）試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。

7　試験室内では、**漢字、英文字や地図等がプリント**されている服等は着用しないでください。

8　座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。

　健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

9　試験時間中に監督者が、出願時に提出した顔写真との照合を行います。マスクや眼鏡、帽子等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。

10　解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。

11　不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後

の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

12　試験場の掲示場には、連絡事項を掲示することがありますので、休憩時間中は掲示に注意してください。

13　試験日の**前日**及び**当日**の**自動車、バイク**での試験場構内への**乗り入れを禁止**します。

14　できる限り公共交通機関を利用してください。自家用車等による送迎及び大学周辺での無断駐車はご遠慮ください。

15　不明なことなどがあれば、志願学部の入試係（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）に申し出て指示を受けてください。

X　合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、病気、負傷や障害等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないよう、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

（1）受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係（70ページ参照）までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いします。

書　類　等	障害者手帳 所持者	障害者手帳 不所持者
受験上の合理的配慮希望申請書 （https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/）	○	○
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮に関する診断名が記載された医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○
大学入試センターから送付された「受験上の配慮事項決定通知書」の写し	○	○

（注）日常生活において使用している補聴器、杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要となります。なお、座布団、ひざ掛け、タオル（サイズは問わない。）、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

（2）受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

（3）連絡及び提出先

志願学部の入試係（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）

Ⅺ　合格者発表

1　合格者発表の日時

〈前期日程〉　令和９年３月６日（土）10時
〈後期日程〉　令和９年３月20日（土）16時

2　合格者発表の方法

（1）合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達は手渡しで、受取時に印鑑が必要。）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。

（2）次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。
アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただけると、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。
　Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。なお、本学Webサイトでの発表は行いません。
　Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から３日経っても合格通知書が届かない場合は、受験した学部の入試係（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Webサイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	
前期日程	令和9年3月6日（土）10時（予定）～ 令和9年3月19日（金）17時
後期日程	令和9年3月20日（土）16時（予定）～ 令和9年3月25日（木）17時

（注）Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

電話等による合否結果の照会には、一切応じられません。

3　２段階選抜に係る第１段階選抜の選考結果発表（医学部医学科志願者のみ）

医学部医学科（前期日程）では、２段階選抜を実施することがあります。２段階選抜に係る第１段階選抜の選考結果発表については、46ページを参照してください。

Ⅻ　入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。入学手続の一部はインターネットにより行います。詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類及び愛媛大学公式Webサイト「入学のご案内について」（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/information/）で確認してください。

1　入学手続期間

〈前期日程〉

令和９年３月６日(土)～ ３月15日(月)17時必着（郵送のみ）

郵送する際に、３月15日(月)の17時までに必着することを郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。直接持参しても受理しません。

〈後期日程〉

郵送する場合　**令和９年３月20日(土)～ ３月27日(土)17時必着**

※３月27日(土)の17時までに必着することを郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

持参する場合　**令和９年３月26日(金)～ ３月27日(土)17時**

※３月26日(金)及び３月27日(土)の９時から17時までの間に限り、本学で手続を行うことができます。

※提出した書類に不備等がある場合は、 入学手続期間中に、入学手続専用サイトで登録した連絡先、インターネット出願で登録した「志願者連絡先」又は「緊急時連絡先」（保護者等連絡先）に連絡します。

2　入学手続関係書類等

書　類　等	摘　要
保　証　書	入学手続専用サイトから印刷した本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
令和９年度大学入学共通テスト「国公立大学入学確認票」	大学入試センターのサイトからダウンロードして印刷したもの
令和９年度愛媛大学受験票	出願サイトからダウンロードして印刷したもの（試験当日持参したもの） （入学手続完了後に返還します。）
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可） 在学中の者は、卒業後に提出してください。
住民票の写し （日本国籍を有しない者のみ）	市区町村長が発行したもの（日本国籍を有しない者のみ提出してください。）
入　学　料　等	66ページ「XIV 初年度の諸経費等」を参照

3　入学手続書類等の送付先

〒790−8577　松山市文京町３番
愛媛大学教育学生支援部入試課
電話番号　089−927−9172、9173（９時から17時まで）
ＦＡＸ番号　089−927−9180

※後期日程の持参先は入学手続関係書類等で確認してください。

4　注意事項

(1) **いかなる理由があっても、合格者が入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合には、入学辞退者として取り扱います。**

(2) 本学の合格者であって、本学へ入学する意志がなく、入学を辞退しようとする場合は、入学手続期間内に入学手続専用サイトから入学辞退の登録を行ってください。

(3) 入学手続完了後は、これを取り消して他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会Webサイト（https://www.kodaikyo.org/）参照）に入学手続をすることができません。また、他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

Ⅻ　欠員補充の方法

1　追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加して合格者を決定することがあります。

この場合、追加合格候補者に該当する受験者へ**令和９年３月28日(日)～３月31日(水)**の間（８時30分～17時）に、電話により、インターネット出願で登録した「志願者連絡先」に連絡して入学意志の確認を行いますので、本人が不在の場合でも連絡が直ちに取れるよう所在を明らかにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格を決定した時点で指示します。

注１　本学から連絡の際、追加合格候補者が不在等のため、本人との連絡・確認ができなかった場合は、入学の意志がないものとして取り扱うことがあります。

注２　追加合格候補者は発表しません。また、電話等による問い合わせには応じません。

注３　前期日程と後期日程の入学手続者の合計数が、一般選抜全体の募集人員を満たしている場合は、どちらかの試験日程で欠員があっても追加合格を行わないことがあります。

2　欠員補充第２次募集

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、欠員補充第２次募集を行うことがあります。実施する場合は、本学Webサイトに欠員補充第２次学生募集要項を掲載し、令和９年３月28日(日)～３月29日(月)の間に出願受付を行います。

なお、出願資格は、14ページ「Ⅲ　出願資格」の条件を満たし、かつ、次のいずれかに該当していなければなりません。

(1) 出願の時点で、いずれの国公立大学にも合格していない者（いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。）

(2) 出願の時点で、国公立大学に合格していた者で、欠員補充第２次募集出願時に、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていないもの

XIV　初年度の諸経費等

1　初年度の諸経費

初年度に必要な経費は、おおむね次のとおりです。

学　　部	入　学　料	授　業　料	その他の経費	合計金額
法　文　学　部 「昼間主コース」	282,000円	年額　535,800円 〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕	64,660円	882,460円
教　育　学　部			64,660円	882,460円
社会共創学部			64,660円	882,460円
理　　学　　部			64,660円	882,460円
医　　学　　部			155,800円 (86,370円)	973,600円 (904,170円)
工　　学　　部			64,660円	882,460円
農　　学　　部			70,660円	888,460円
法　文　学　部 「夜間主コース」	141,000円	年額　267,900円 〔前期分 133,950円 後期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注１　入学料及び授業料の額は、令和８年度納付額であり、令和９年度は改定になる場合があります。
注２　その他の経費とは､学生教育研究災害傷害保険料及び校友会並びに後援会費等の合計金額（金額については、変更される場合があります。）です。
注３　医学部（　）内は、看護学科の金額を示します。

2　納付金の納入

(1)　入 学 料　　**282,000円**（法文学部「夜間主コース」は、**141,000円**）
　　納入期間　　**各日程（前期日程・後期日程）の入学手続締切日まで**
　　なお、追加合格、欠員補充第２次募集の場合は、合格者に納入期間等を通知します。

(2)　授 業 料　　前期分　**267,900円〔年額　535,800円〕**
　　（法文学部「夜間主コース」は、**133,950円〔年額　267,900円〕**）
　　納入期間については、合格通知の際にお知らせします。
　　※在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の授業料を適用します。

(3)　入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度
　　制度及び手続に関する詳細は、愛媛大学Webサイトでご確認ください。
　　https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/scholarship-exemption/

(4)　その他の経費
　　納入期日等については、別途通知します。
　　その他の経費には、教科書購入費は含まれていません。

(5)　入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

履修コース

1　法文学部の履修コースの決定

法文学部では、昼間主コースには「法学・政策学履修コース」「グローバル・スタディーズ履修コース」「人文学履修コース」の３つの履修コースを、夜間主コースには「法学・政策学履修コース」「人文学履修コース」の２つの履修コースを設けています。

１年次終了時点で、自分自身の興味関心及び将来像に従って履修コースを選択し、２年次前学期の終了時点で専攻する分野と主指導教員を決定します。

履修コースの振り分けは、学生の希望と１年次の学業成績、その他各コースの定める要件によって行います。各コースの担当教員数に応じて以下のように目安となる定員を設定しますが、定員には余裕を持たせ、できるだけ学生の希望を反映する振り分けを行います。

	昼間主コース	夜間主コース
法学・政策学履修コース	115人	45人
グローバル・スタディーズ履修コース	60人	
人文学履修コース	100人	45人

それぞれの履修コースの特徴は、次のとおりです。

⑴　法学･政策学履修コース

社会科学の知識を基に、現代社会の問題を見極めて分析を行い、問題の解決へと導く能力を養います。法律学・政治学・経済学をとおして、公共政策及び企業活動に対する理解を深めて、実務において必要とされる基礎力を身につけていきます。法律学・政治学・経済学のいずれかを専門的に学ぶこともできます。

⑵　グローバル・スタディーズ履修コース

グローバルに活動できる人間になるために、語学力・協働力・交渉力をバランスよく身につけます。そのために、外国語の習得に力を入れるのはもちろんのこと、人文社会系の知識を身につけ、海外での学びをとおして、実地にそれを活かす感覚を養います。国の内外を問わず、グローバルな視点に立つことが求められる場で活躍できます。

⑶　人文学履修コース

思想・心理・歴史・社会・文学・芸術・言語について専門的に学ぶことができます。人文系の学びにおいては、物事を冷静に見つめて粘り強く考え、人間の幸福にとって何が大事なのかを見極めることを重視します。人文系の学びをとおして、人間への洞察を深めて、社会にそれを活かすことができるようになります。

2　教育学部のコース等の決定

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース）及び初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース）を設けています。実践的なカリキュラムと相互に尊重し、啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

本課程のコース、サブコース、教科の入学者選抜試験により、所属コース、サブコースが決定されます。入学後はコース、サブコースの変更は認められません。

3　社会共創学部産業イノベーション学科のコース配属について

社会共創学部産業イノベーション学科では、「海洋生産科学コース」「紙産業コース」「ものづくりコース」の３つのコースを設けています。２年次前学期終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。

4　理学部の教育コース

理学部では、数学・数理情報コース、物理学コース、化学コース、生物学コース、および地学コースの５つの教育コースを設けており、入学者は２年次より各コースに所属します。一般選抜・前期日程および後期日程による入学者は、受験科目にかかわらず、自分自身の興味・志向に応じて教育コースを選択することができます。学校推薦型選抜による入学者は、受験時に選択した教育コースに所属することになります。

5　医学部看護学科の履修

保健師国家試験受験資格

医学部看護学科では、保健師教育課程に選択制を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、２年次前学期終了後に選考を受けて、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

6　工学部工学科のコース・特別プログラムへの配属について

工学部工学科では、以下の10コースと特別プログラムを設けています。

一般選抜理型入試（一般選抜前期の理型入試Ａ、理型入試Ｂ及び一般選抜後期の理型入試）で合格した学生は、入学後の希望調査及び１年次前学期で単位修得した科目の成績によって、１年次後学期に各教育コースに配属されます。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び一般選抜文理型入試で合格した学生は、入学の時点から受験時に選択した教育コースに所属しますが、１年次の履修状況によってコースを変更することができます。

デジタル情報人材育成特別プログラムの学生は、全員、１年次から特別プログラムに所属します。（他のコースへ変更することは、原則認められません。）

・機械工学コース
・知能システム学コース
・電気電子工学コース
・コンピュータ科学コース
・応用情報工学コース
・材料デザイン工学コース
・化学・生命科学コース
・社会基盤工学コース
・建築・社会デザインコース
・海事産業特別コース
・デジタル情報人材育成特別プログラム

7　農学部のコースへの分属

農学部では、３つの学科にそれぞれ１～３つのコース（特別コースは除く）が設置されており、２年次前学期開始時に、所属している学科のいずれか１つのコースに分属します。

コースの内容については、「愛媛大学農学部案内」を参照してください。

⑴ 学科及びコース

食料生産学科

農業生産学コース

植物工場システム学コース

食料生産経営学コース

生命機能学科

応用生命化学コース

生物環境学科

森林資源学コース

地域環境工学コース

環境保全学コース

⑵ コースへの分属

１）分属要件及び分属方法

１年次後学期までに分属要件を満たした（所定の単位を修得した）者について、本人の志望と入学後に修得した成績を基に分属を決定します。

２）コース分属の説明

コース分属については、入学後、ガイダンス等で詳しく説明します。

入学試験に関する照会先

入試に関する電話によるお問い合わせは、月曜日から金曜日まで（祝日、年末年始を除く。）の９時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

なお、インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問い合わせは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（21ページ参照）へ連絡してください。

学部等	所在地	電話番号
法文学部	愛媛大学法文学部入試係 〒790－8577　松山市文京町３番	089－927－9221
教育学部	愛媛大学教育学部入試係 〒790－8577　松山市文京町３番	089－927－9377
社会共創学部	愛媛大学社会共創学部入試係 〒790－8577　松山市文京町３番	089－927－9019
理学部	愛媛大学理学部入試係 〒790－8577　松山市文京町２番５号	089－927－9546
医学部	愛媛大学医学部入試係 〒791－0295　東温市志津川	089－960－5869
工学部	愛媛大学工学部入試係 〒790－8577　松山市文京町３番	089－927－9697
農学部	愛媛大学農学部入試係 〒790－8566　松山市樽味３丁目５番７号	089－946－9648
入試課	愛媛大学教育学生支援部入試課 〒790－8577　松山市文京町３番	089－927－9173

入試情報についてのお問い合わせは次のURLをご利用ください。

入試情報についてのお問い合わせ（URL）

https://www.ehime-u.ac.jp/mail-contact/form-entrance/

試験場・試験場案内・交通機関案内

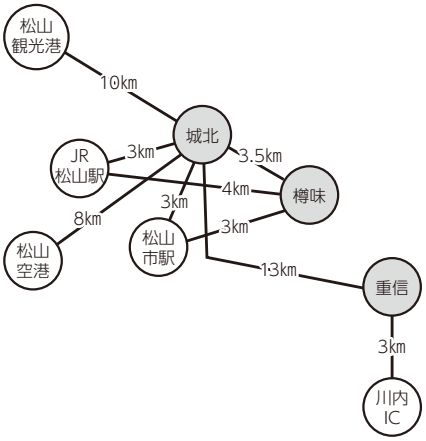
試　験　場

学　　部	図標示	試　験　場	所　在　地
法　文　学　部	1	城北キャンパス	松山市文京町３番
教　育　学　部			
社会共創学部			
理　　学　　部			松山市文京町２番５号
医　　学　　部	2	重信キャンパス	東温市志津川
工　　学　　部	1	城北キャンパス	松山市文京町３番
農　　学　　部	3	樽味キャンパス	松山市樽味３丁目５番７号

試験場案内

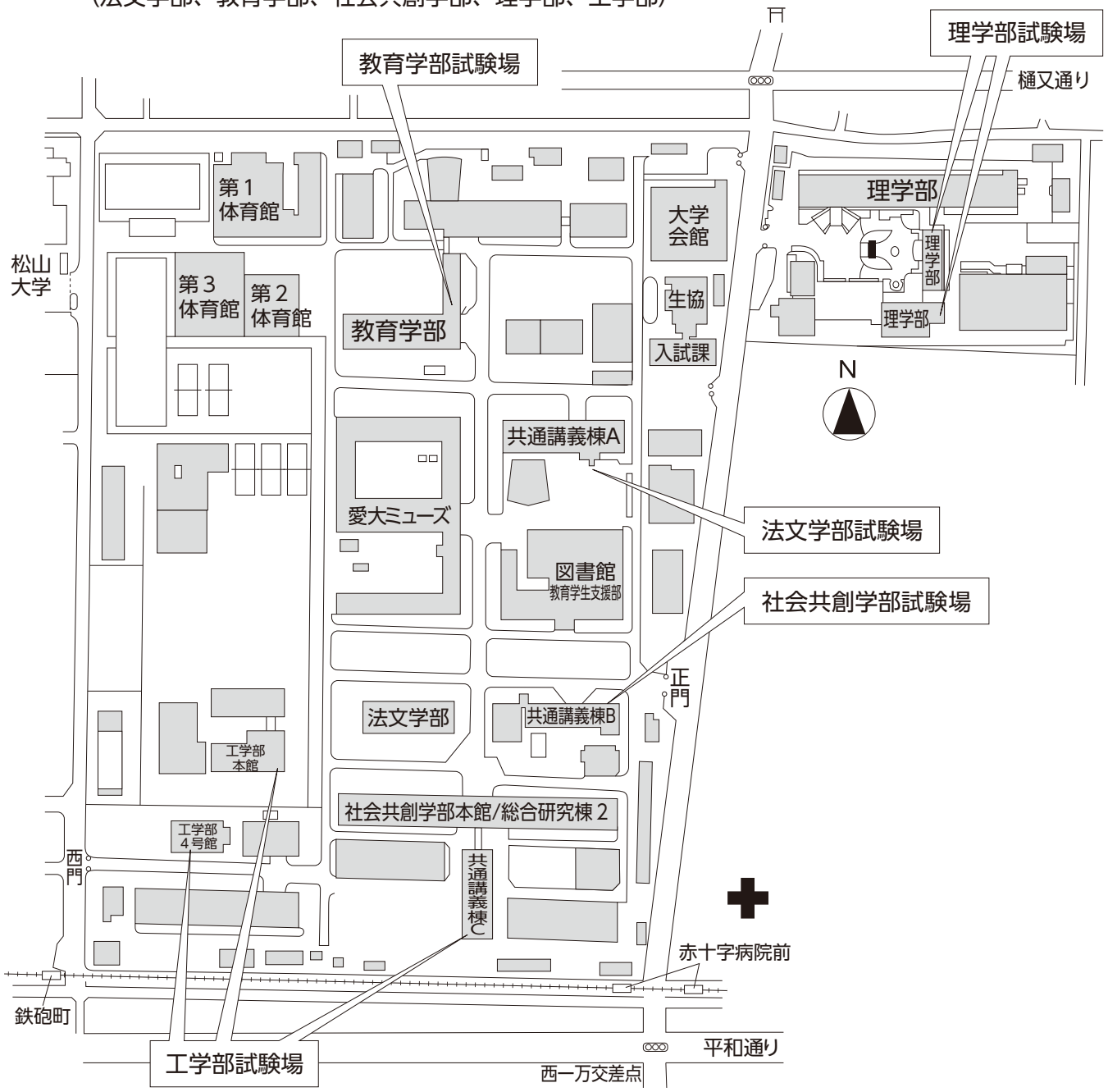


距　離



1 城北キャンパス

（法文学部、教育学部、社会共創学部、理学部、工学部）



注　試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票ダウンロード期間中にダウンロードした「受験票」の連絡事項をご確認ください。

〔アクセス〕

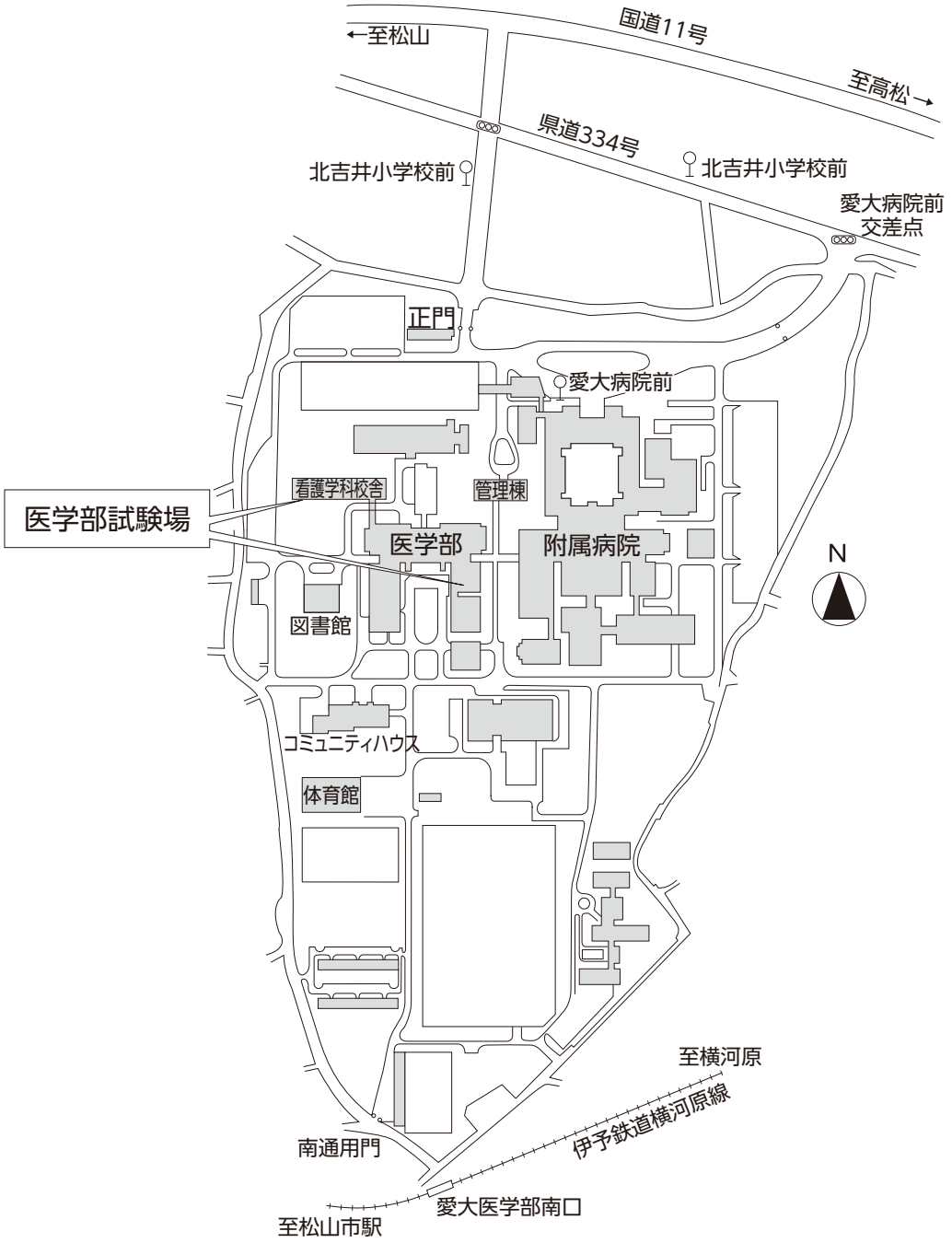
● JR松山駅から

伊予鉄道市内電車　①番環状線　JR松山駅前から古町回り松山市駅行き　乗車約18分
赤十字病院前下車　北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車　②番環状線　松山市駅から大街道回り　乗車約16分　赤十字病院前下車　北へ徒歩3分
①番環状線　松山市駅からJR松山駅前回り　乗車約28分
赤十字病院前下車　北へ徒歩3分

2 重信キャンパス
(医学部)



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車　大手町（JR松山駅から東へ徒歩5分）から横河原行き　乗車約32分
愛大医学部南口下車　北へ徒歩5分

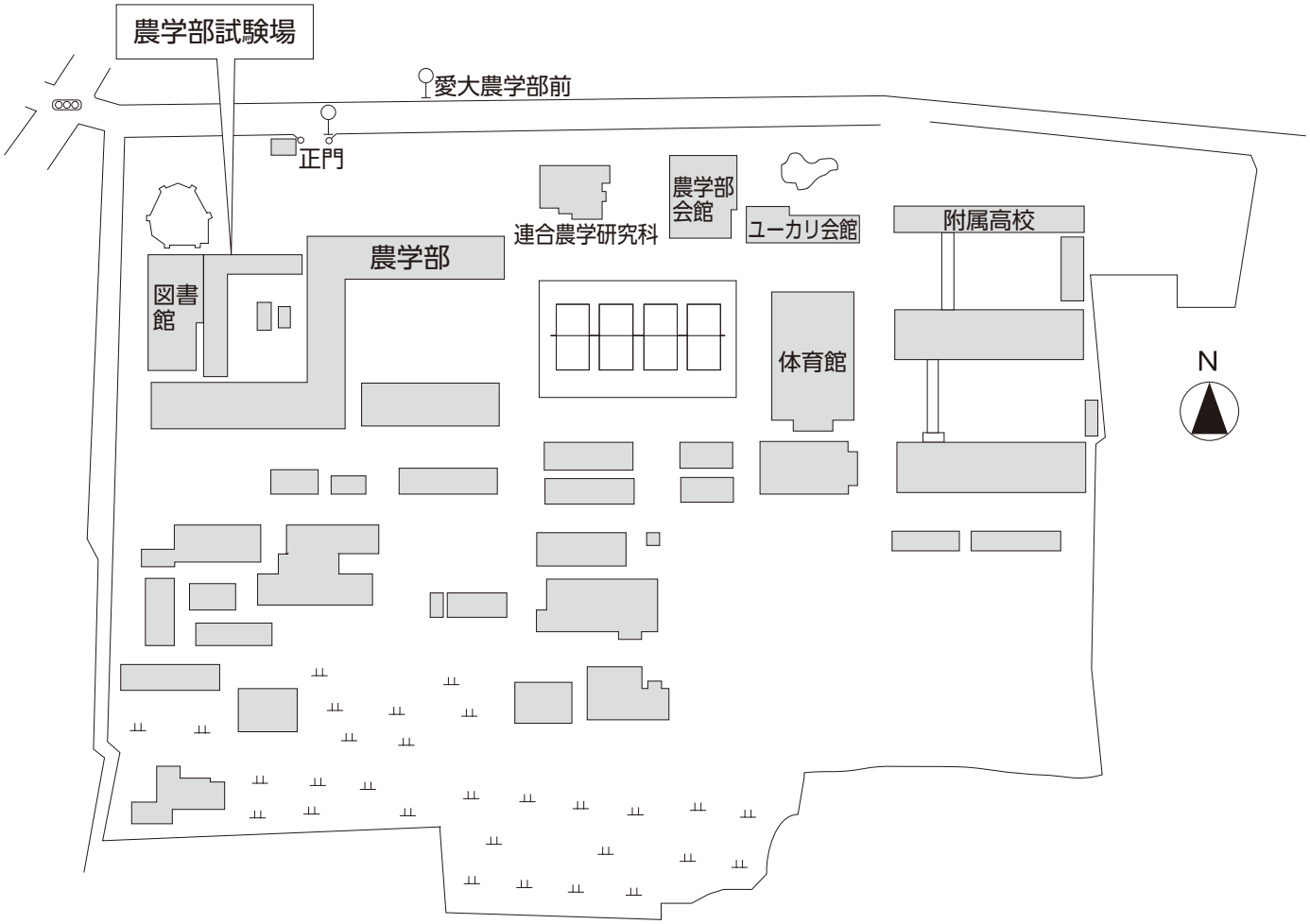
● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車　松山市駅から横河原行き　乗車約28分　愛大医学部南口下車　北へ徒歩5分
伊予鉄郊外バス　松山市駅から川内方面行き　乗車約35分　愛大病院前下車　徒歩すぐ

● 松山観光港から

伊予鉄バス　高浜駅前行き　乗車約2分　高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車　高浜から横河原行き　乗車約60分　愛大医学部南口下車　北へ徒歩5分

3 樽味キャンパス
（農学部）



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス　　8番線（東野経由）JR松山駅前から道後温泉駅前行き　乗車約24分　愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス　　8番線（東野経由）松山市駅から道後温泉駅前行き　　乗車約15分　愛大農学部前下車

入学試験個人成績の開示

本学では、一般選抜の個人成績（大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績）及び総合点の順位を受験者本人に限って開示します。令和９年度の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。ただし、面接、集団面接及び調査書等の出願書類については、A（期待される水準を上回っている)、B（期待される水準に達している)、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請 求 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和９年５月１日(土)～令和９年５月31日(月)
郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、令和９年度愛媛大学受験票又は令和９年度大学入学共通テスト受験票と、460円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形３号：12㎝×23.5㎝）を同封して、受験した学部の入試係（70ページ「入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。開示請求書は、大学Webサイト（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/）からダウンロードできます。
※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：令和９年６月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について

本学では、令和９年度一般選抜の試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について、次のとおり行います。

Webサイトによる開示

試験問題は、令和９年５月下旬以降に本学Webサイト「入学試験問題の公表」（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/past-exam/）で公表します。

正解又は解答例、出題意図は、準備ができ次第、本学Webサイトで公表します。

解答例は、標準的な解答例を示しています。

著作権の関係上、問題の一部を掲載していない場合があります。

個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト（https://juken.ehime-u.ac.jp）	
入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。	
■入学試験実施統計（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/）	
過去７年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。	
■インターネット出願（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/）	
一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内にインターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。	
■がんばれ国公立大学受験生!!（https://daigakujc.jp/ehime-u/）	
イベント・トピックス、入試情報、大学の特長・沿革、学部・学科情報、学生生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。 （運営：大学情報センター）	

「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用した場合は、入試終了後、本学のWebサイトで公表します。

なお、「入試過去問題活用宣言」の詳細は、「入試過去問題活用宣言」Webサイト（https://www.nyushikakomon.jp）にて公表しています。